MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン（R410A対応）

取扱説明書

中低温用パッケージエアコン

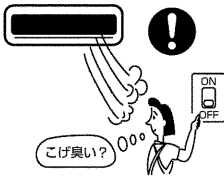
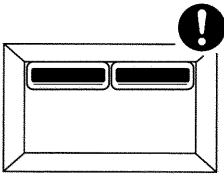
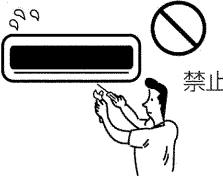
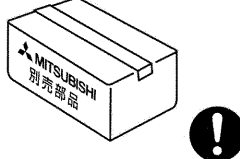
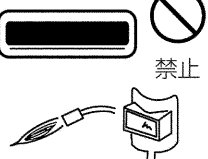
〈中温用〉	〈低温用〉
PCTF-P195MA	PCTFS-P200LA
PCTFX-P200MA	PCTFX-P210LA
PCTF-P235MA	PCTFD-P250LA
PCTFX-P240MA	PCTFS-P240LA
PCTFX-P370MA	PCTFX-P245LA
PCTFD-P375MA	PCTFT-P375LA
PCTFX-P460MA	PCTFS-P375LA
PCTFD-P465MA	PCTFD-P500LA
PCTFT-P475MA	PCTFS-P475LA

もくじ

省エネで　守る環境　豊かな暮らし

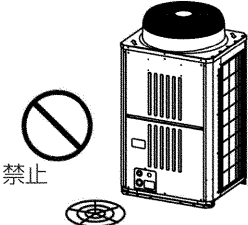
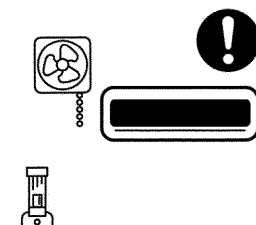
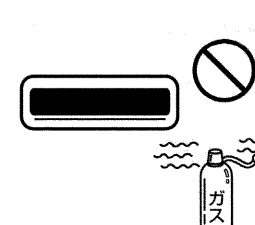
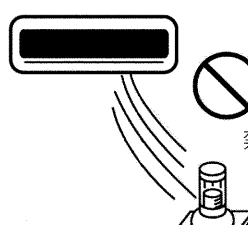
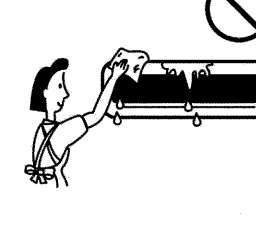
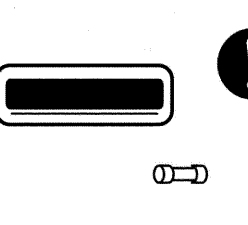
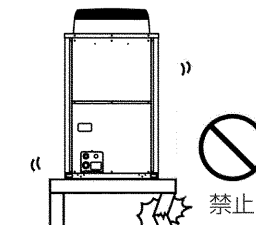
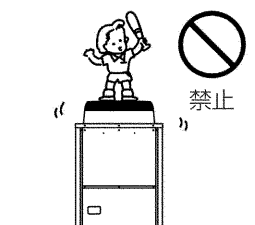
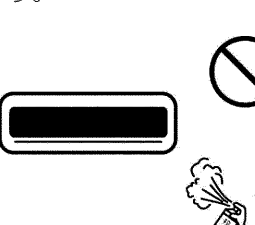
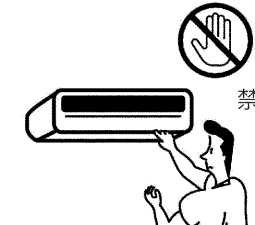
このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
- ●お読みになったあとは、『据付工事説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ●保証書は、『お買い上げ日・販売店名』などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- ●お使いになる方が変わる場合、本書と『据付工事説明書』『保証書』をお渡しください。
- ●お客さまご自身では、据付け・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません。）

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告 ⚠注意 の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつくもの。

■本文中に使われる"図記号"の意味は次のとおりです。

⊘	絶対に行わないでください。
(接触禁止)	絶対に触れないでください。
(アース)	必ずアース工事を行ってください。
❗	必ず指示に従い、行ってください。

⚠警告

異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切る。

●異常のまま運転を続けると、故障や火災・感電等の原因になります。お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。

小部屋へ据付ける場合は、冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を。

●万一冷媒が漏洩して限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。限界濃度を超えない対策については、お買い上げの販売店にご相談ください。

空気の吹出口や吸込口に指や棒等を入れない。

●運転中は内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。

お客様自身で分解・修理・移設はしない。

●修理・設置等に不備があると、爆発・火災・感電・水漏れ等の原因になります。お買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。

別売部品は、必ず当社指定の製品を使用し、取付けは専門業者に依頼する。

●ご自分で取付けをされ不備があると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。

冷媒の加熱にご注意。

●冷媒が火などに触れると分解して有毒ガスが発生し、ガス中毒の原因になります。エアコン設置の密閉した部屋内で溶接機などを使用しないでください。

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

●ご自分で据付け工事をされ不備があると、火災・感電・水漏れ等の原因になります。

長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎたりしない。

●体調悪化や健康障害の原因になります。

⚠注意

アース工事を行う。

●アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースに不備があると、感電、発煙、発火およびノイズによる誤動作の原因になります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に施工し、結露が生じないよう断熱処理をする。

●配管工事に不備があると、水漏れの原因になります。

濡れた手でスイッチを操作しない。

●感電の原因になります。

漏電遮断器を取付ける。

●取付けていないと、感電の原因になります。

⚠注意

室外ユニットのファンガードを取外さない。

●ファンが露出し、ケガの原因になります。

燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する。

●換気が不十分な場合は、酸欠事故の原因になります。

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所には設置しない。

●万一ガスが漏れて製品の周囲に溜まると、爆発の原因になります。

食品・動植物・精密機器・美術品の保存等、特殊用途については、確認のうえ使用する。

●本来の用途以外に使用すると、食品の品質低下等の原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。

空調機の風が直接あたる所に燃焼器具を置かない。

●燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。

製品を水洗いしない。

●感電の原因になります。

空調機の風が直接あたる所に動植物を置かない。

●悪影響をおよぼす原因になります。

掃除をする時は、運転を停止し、電源スイッチを切る。（電源プラグ付きの製品は、プラグを抜く。）

●運転中は内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。

ブレーカーやヒューズは正しい容量のものを使用する。

●針金や銅線を使用すると火災や故障の原因になります。

据付台などが痛んだ状態で放置しない。

●製品の落下につながり、ケガの原因になります。

室内・室外ユニットの上に乗ったり、物を乗せたりしない。

●落下、転倒によるケガの原因になります。

特殊雰囲気中では使用しない。

●油・蒸気の多いところや、酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等を頻繁に使用するところで使用しますと、性能を著しく低下させたり、感電、故障、発煙、発火等の原因になります。また、有機溶剤、腐食ガス（アンモニア、硫黄化合物、酸　等）の雰囲気では、ガス漏れ、水漏れの原因になります。

製品の上に花瓶等水の入った容器を載せない。

●水がこぼれたとき、製品内部に浸水し、感電の原因になります。

圧縮機や冷媒配管などに素手で触れない。

●冷媒の状態により、高温あるいは低温になり、火傷・凍傷の原因になります。

殺虫剤・可燃性スプレー等を製品の近くに置いたり、直接吹きつけたりしない。

●火災・変形の原因になります。

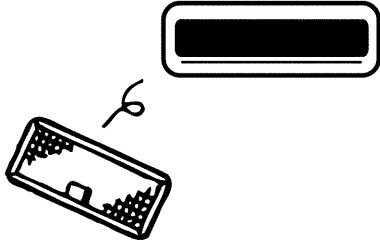
製品内の金属エッジに素手で触れない。

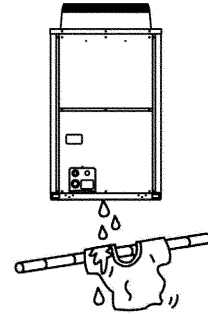
●ケガの原因になります。

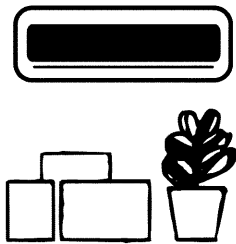
故障をさけるために必ず守ること

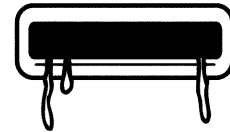
使用上のお願い

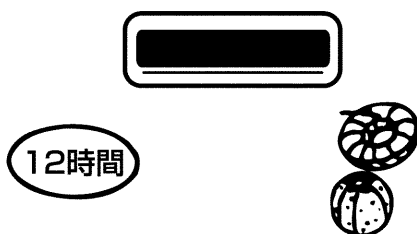
エアフィルターを外したまま使用しない。

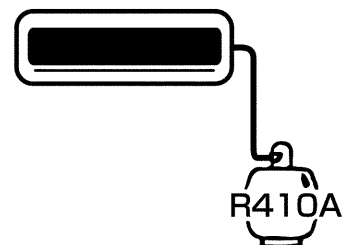
●内部にゴミがつまり、故障の原因になります。

室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない。

●運転状態により露が落ちることがあります。

吹出口・吸込口の近くに物を置かない。

●能力低下や故障の原因になります。

使用温度範囲を守る。

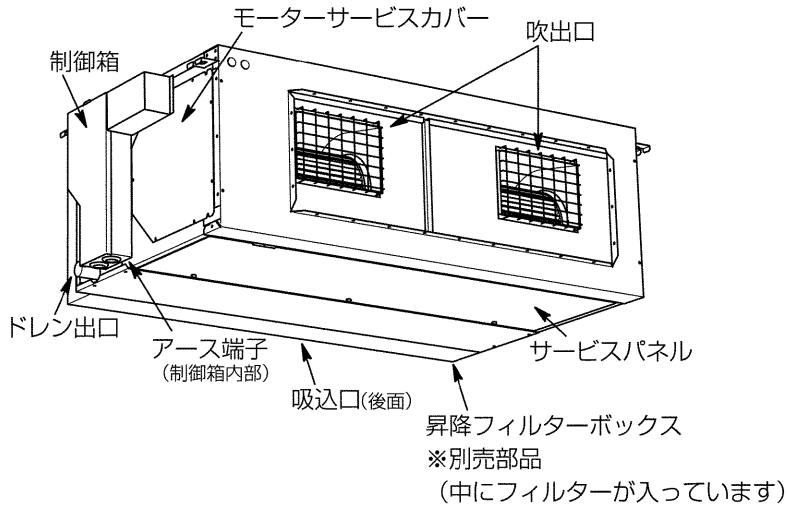
●範囲外で使用すると故障の原因になります。
（23ページをご覧ください。）

長時間運転停止の後、再運転する場合は、12時間以上前に電源スイッチを入れる。

●シーズン中は電源スイッチを切らないでください。圧縮機故障の原因になります。

冷媒回路内に指定冷媒(R410A)以外の物を混入させない。

●空気などが混入すると、破裂や故障の原因になります。

各部の名称とはたらき

本体部分

室内ユニット

PCT-P95A, PCT-P125A
PCT-P190A, PCT-P250A

室外ユニット

PUTF-P190A(-BS, BSG)
PUTF-P250A(-BS, BSG)
PUTF-P250SA(-BS, BSG)

PUTF-P375A(-BS, BSG)

操作部（MAスムースリモコン）

お知らせ

●操作ボタンを押してもその機能が室内ユニットに装備されていない場合には “無効ボタン” と点灯表示が出ます。

リモコンの画面構成と遷移

各画面の説明

・リモコン機能選択画面：タイマー機能、操作制限機能等を設定します。
・通常画面　　　　　　：空調機の運転状態を設定します。
・タイマーモニター画面：設定されているタイマー（簡易、消し忘れ）の動作内容を表示します。
・タイマー設定画面　　：タイマー（簡易、消し忘れ防止）の動作内容を設定します。

リモコン機能選択画面

CHANGE
LANGUAGE

Ⓐ

通常画面

冷房 25 ℃ 27 ℃ 本体センサー使用

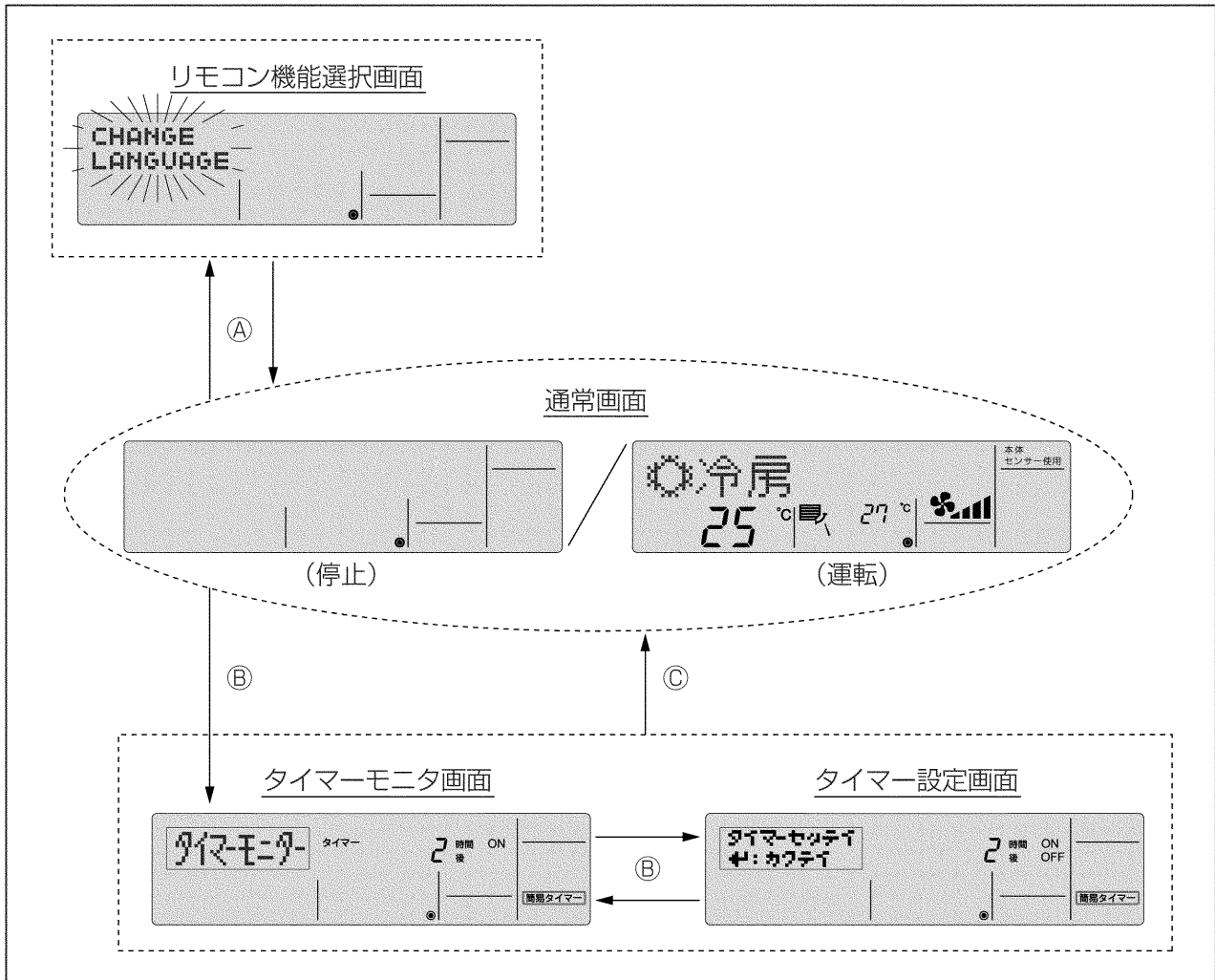
（停止）　（運転）

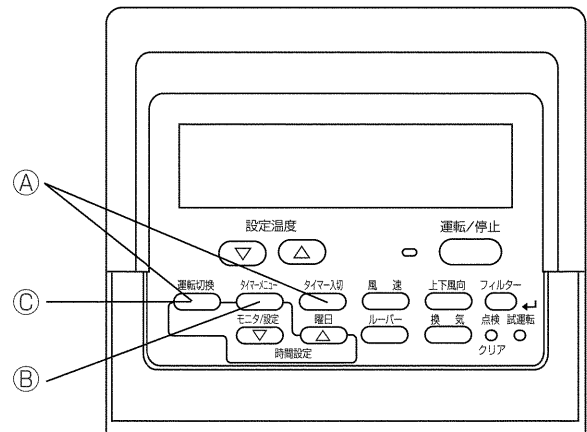
Ⓑ　Ⓒ

タイマーモニタ画面　タイマー設定画面

タイマーモニター タイマー 2 時間後 ON 簡易タイマー

タイマーセッテイ ↵：カクテイ 2 時間後 ON OFF 簡易タイマー

Ⓑ

遷移のしかた

Ⓐ：運転切換ボタンを押しながらタイマー入切ボタンの同時2秒押し
Ⓑ：タイマーメニューボタン押し
Ⓒ：運転切換（戻る）ボタン押し

運転のしかた

（1）運転／停止と運転モード、室温調節のしかた

MAスムースリモコン

運転を開始するとき

■ ⬭（運転／停止）ボタン①を押す。
●運転ランプ 1 と表示部が点灯します。

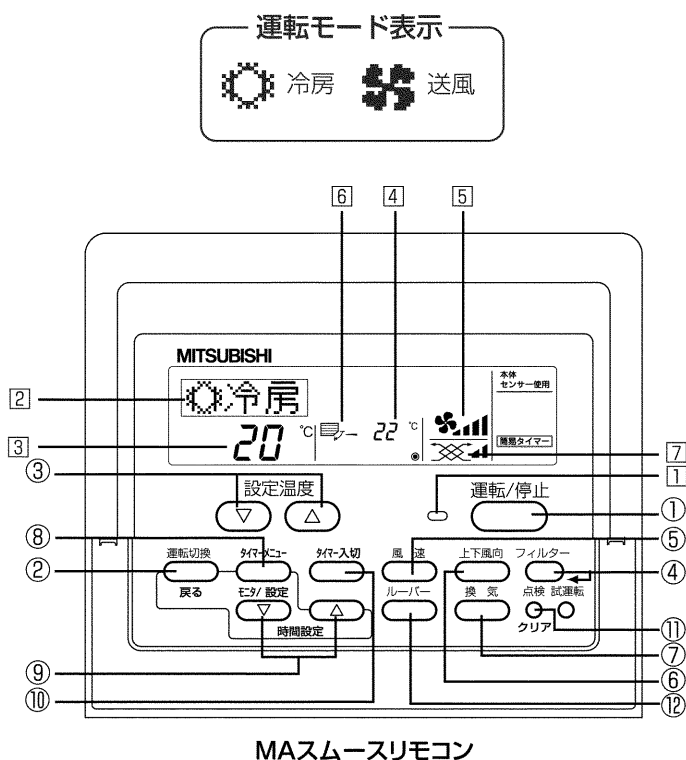
お知らせ ●再運転は、下記運転内容となります。

	リモコン設定内容
運転モード	前回運転モード
温度設定	前回設定温度

運転を停止するとき

■ ⬭（運転／停止）ボタン①を押す。
●運転ランプ 1 と表示部が消えます。

運転モードを選ぶとき

■運転中に（運転切換）ボタン②を押す。
●1回押すごとに設定が切換わります。
運転モードが 2 に表示されます。
→ 冷房 → 送風 →

設定温度を変えたいとき

■室温を下げたいとき･･･ ▽設定温度ボタン③を押す。
■室温を上げたいとき･･･ △設定温度ボタン③を押す。
●1回押すごとに設定温度を1℃変えられます。
設定温度が 3 に表示されます。
●設定できる指定温度は次のとおりです。

冷房運転		送風・換気
中温用	低温用	
14～30℃	7～15℃ ※	設定できません

※5～30℃が表示されますが7～15℃の範囲内でご使用ください。
※MAスムースリモコン以外ご使用できません。
●リモコン機能選択で温度範囲が制限されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。
範囲を超えて設定しようとした場合、"温度制限"が点滅表示され、制限中であることが表示されます。

室温表示

運転中の吸込温度が 4 に表示されます。

お知らせ

●中温用の場合、表示範囲は8～39℃で、これを超える場合は8℃、または39℃で点滅します。
●低温用の場合、表示範囲は1～32℃で、これを超える場合は1℃、または32℃で点滅します。
●複数台の室内ユニットを操作する場合は、リモコンへの表示は、代表室内ユニット（親機）の内容が表示されます。
●室温センサー位置は、"本体"と"リモコン"が選択できます。
初期設定は、"本体"となっております。　室温センサー位置を"リモコン" に変更される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。（低温用の場合、"リモコン"は使用しないでください。）
●リモコン機能選択で"室温表示なし"が選択されている場合は、室温は表示されません。

（2）風速・風向調節のしかた

風速を変えたいとき

■本ユニットは風速調節機能はありません。
1段階のみの固定です。
（風 速）ボタン⑤を押しても“無効ボタン”
と点滅表示します。

風向を変えたいとき

■別売プレナムチャンバーを取付時、リモコンより
風向調節が可能です。
■運転中に（上下風向）ボタン⑥を押す。
●1回押すごとに以下のように設定が切換わります。
上下風向が 6 に表示されます。
●設定できる風向は次のとおりです。

表　示	設定1（水平吹出し）	設定2（下吹出し10°）	設定3（下吹出し25°）	設定4（下吹出し40°）
風　向	水平吹出し	下吹出し10°	下吹出し25°	下吹出し40°
運転モードを変更したときの上下風向設定	冷房 送風運転	－	－	－

※風向の角度は目安です。

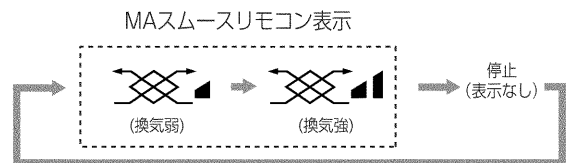
ご注意

ルーバーに外力を加えたり、ルーバーを手で
動かすと故障の原因となります。
取扱いにご注意ください。

換気運転のしかた

●室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき
室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転
します。
換気運転が 7 に表示されます。
●室内ユニットを停止中に換気装置のみを運転するとき
■停止中に（換 気）ボタン⑦を押す。
運転ランプ 1 と換気運転が 7 に表示されます。

●換気操作の風速を変えたいとき
■（換 気）ボタン⑦を押す。
1回押すごとに以下のように切換わります。

MAスムースリモコン表示

お知らせ

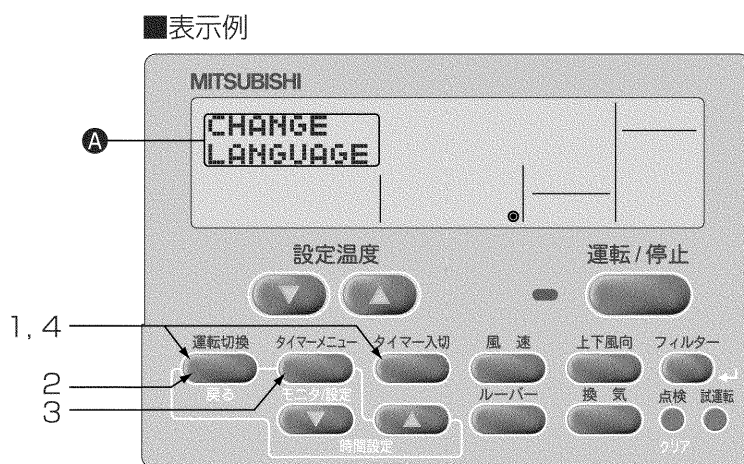
●室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみ
を運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する
場合があります。
●（換 気）ボタン⑦を押したとき、“無効ボタン” の
表示が点灯する場合は、換気装置が連動接続されてい
ません。

(3) リモコンの機能選択のしかた

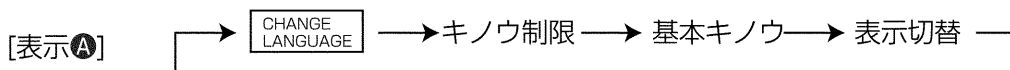
言語表示切換のしかた

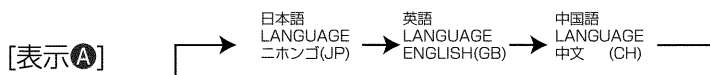
本設定により、ドット表示部に表示する言語を設定します。
下記設定が可能です。
①日本語（JP）（初期設定）　②英語（GB）　③中国語（CH）

表示する言語を切換える

■表示例

1. 運転切換 ボタンを押しながら タイマー入切 ボタンを2秒間同時に押し、リモコンの機能選択モードに切換える。

2. 運転切換 ボタンで[表示A] CHANGE LANGUAGE を選定。

[表示A]　→ CHANGE LANGUAGE →キノウ制限 → 基本キノウ → 表示切替 ─┘

3. タイマーメニュー ボタンで、表示させる言語を選定。

[表示A]　→ 日本語 LANGUAGE ニホンゴ(JP) → 英語 LANGUAGE ENGLISH(GB) → 中国語 LANGUAGE 中文　(CH) ─┘

4. 運転切換 ボタンを押しながら タイマー入切 ボタンを2秒間同時に押し、通常モードに戻り、設定完了。

表示例（冷房運転）　日本語 冷房　英語 COOL　中国語 制冷

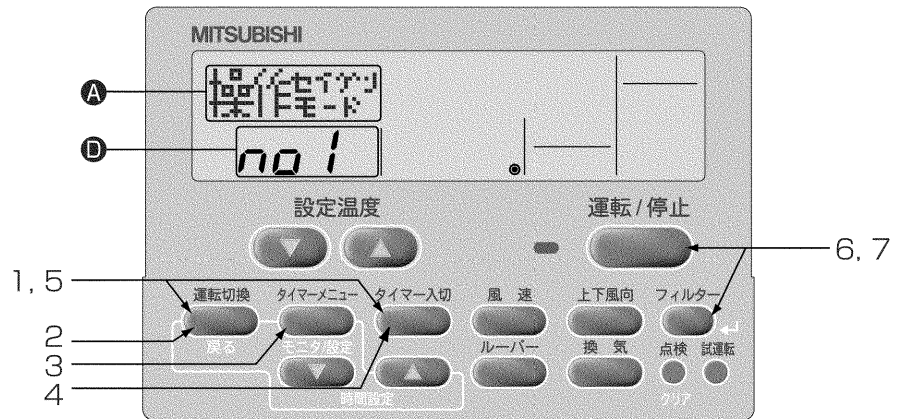
機能制限（操作ロック）のしかた

下記設定が可能です。

①no1　：運転／停止ボタン以外操作ロック設定となります。
②no2　：全ボタン操作ロック設定となります。
③OFF（初期設定値）　：操作ロック設定なしとなります。

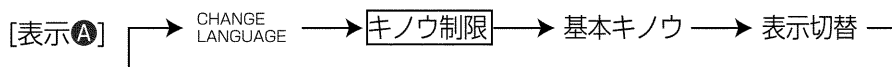
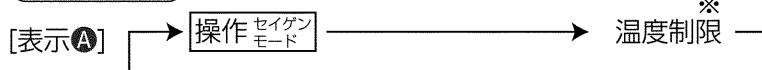
※通常画面にて操作ロックを実行するには、上記設定後に通常画面にて実行操作（ フィルター ↵ボタンを押しながら 運転／停止 ボタンを2秒間同時押し）が必要です。
※操作ロック設定されている場合は、操作制限 が点灯表示されます。

操作ロックを設定するとき

■表示例

1. (運転切換)ボタンを押しながら(タイマー入切)ボタンを2秒間同時に押し、リモコンの機能選択モードに切換える。
2. (運転切換)ボタンで表示Ⓐキノウ制限を選定。

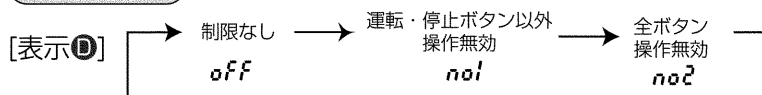
[表示Ⓐ]

3. (タイマーメニュー)ボタンで、表示Ⓐ操作セイゲンモード を選定。

[表示Ⓐ]

※設定温度範囲で設定されているモードが表示されます。

4. (タイマー入切)ボタンで、モードを選定。

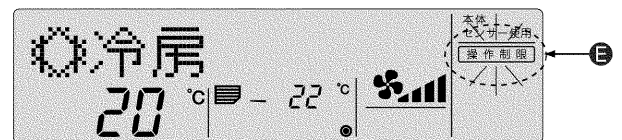
[表示Ⓓ]

制限なし	運転・停止ボタン以外操作無効	全ボタン操作無効
oFF	no1	no2

5. (運転切換)ボタンを押しながら(タイマー入切)ボタンを2秒間同時に押し、通常モードに戻り、設定完了。

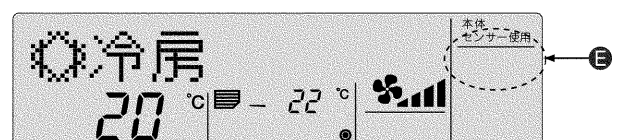
1〜5の操作で設定した操作ロックの使用が可能となります。
有効にするには、引き続き、次項の操作を行ってください。

操作ロックを有効にするとき

6. (フィルター)↵ボタンを押しながら(運転／停止)ボタンを2秒間同時に押し、操作ロックを有効にする。
表示Ⓔ[操作制限]が点灯します。
※操作ロック中に、ロックされているボタンを操作したときは、表示Ⓔ[操作制限]が点滅表示します。

■操作ロック有効時の表示

操作ロックを解除するとき

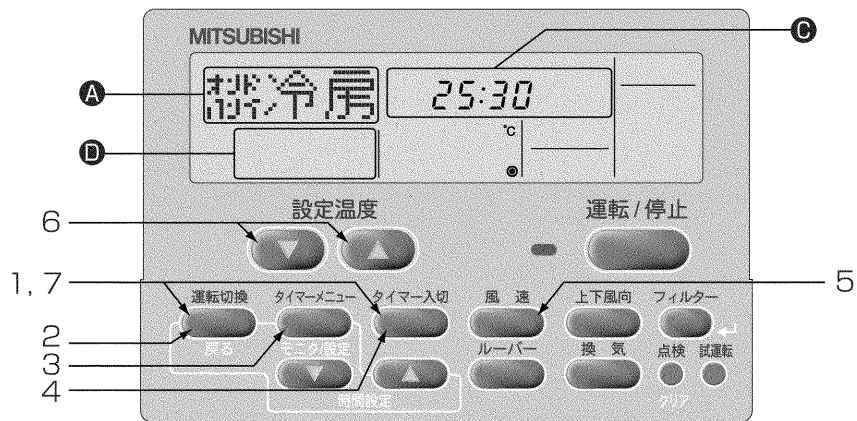
7. (フィルター)↵ボタンを押しながら(運転／停止)ボタンを2秒間同時に押します。
表示Ⓔ[操作制限]が消灯します。

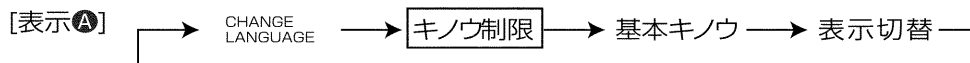
■操作ロック解除時の表示

設定温度範囲制限のしかた

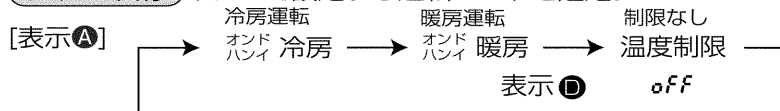
設定温度範囲を制限することができます。下記内容を切換えます。
①冷房モード　　　　　：冷房モードでの設定温度範囲を変更します。
②OFF（初期設定値）　：温度範囲制限は実行されません。
※OFF以外が設定された場合、温度制限設定が実行されます。
ただし、設定温度範囲が変更されていなければ制限は実行できません。

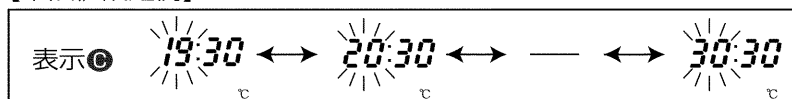
・設定温度▽ボタン、または設定温度△ボタンを押す毎に設定値がアップ,ダウンします。
・風速ボタンを押して上限値設定,下限値設定の選択を切換えます。選択された設定内容は点滅表示しており、この温度値を設定します。
・設定範囲
冷房モード（中温用）　:下限値:14℃～30℃　　上限値:30℃～14（19）℃
冷房モード（低温用）　:下限値:5℃～30℃　　上限値:30℃～5℃
※設定範囲は接続されるユニットにより異なります。

温度範囲を制限するとき

■表示例

1.（運転切換）ボタンを押しながら（タイマー入切）ボタンを2秒間同時に押し、リモコンの機能選択モードに切換える。

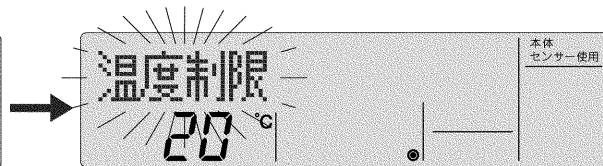
2.（運転切換）ボタンで表示Ⓐキノウ制限を選定。
[表示Ⓐ]　→ CHANGE LANGUAGE → キノウ制限 → 基本キノウ → 表示切替

3.（タイマーメニュー）ボタンで、表示Ⓐ温度制限※を選定　　※前回設定変更されている時は4のいずれかの設定されているモードが表示されます。

4.（タイマー入切）ボタンで設定する運転モードを選定。
[表示Ⓐ]　→ 冷房運転 オンド ハンイ 冷房 → 暖房運転 オンド ハンイ 暖房 → 制限なし 温度制限
表示Ⓓ　oFF

5.（風　速）ボタンで下限値、上限値を選定。
[表示Ⓒ]　→ 下限値点滅 19:30 → 上限値点滅 19:30
℃　℃

6. 設定温度（▼）（▲）ボタンで制限温度範囲を設定。
【下限値設定例】
表示Ⓒ　19:30 ↔ 20:30 ↔ — ↔ 30:30
℃　℃　℃

7.（運転切換）ボタンを押しながら（タイマー入切）ボタンを2秒間同時に押し、通常モードに戻り、設定完了。
※（タイマー入切）ボタンを先に押すと設定内容が変わってしまいます。
※温度範囲制限中に、範囲外の設定温度にしようとしたとき、温度制限の表示が点滅します。

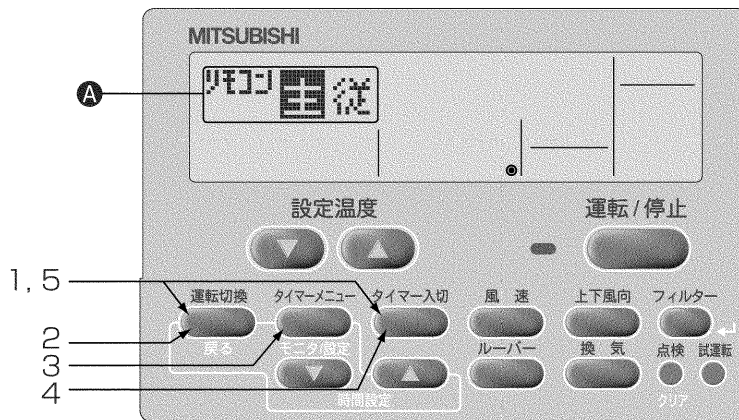
■設定温度範囲制限中の表示例

工場で従業員が勝手に設定温度を下げすぎる場合、例えば、冷房モードの設定温度範囲を20℃～30℃に設定します。

設定

リモコンの主従設定のしかた（2リモコン運転の場合）

2台のリモコンを接続する場合は、リモコンの主・従の設定が必要です。
下記設定が可能です。

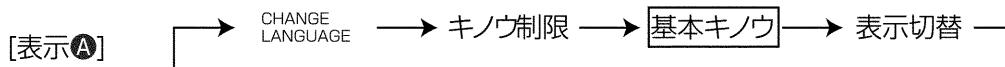
①主（初期設定）　：主設定になります。
②従　：従設定になります。

リモコンの主従を切換える

■表示例

1. (運転切換)ボタンを押しながら(タイマー入切)ボタンを2秒間同時に押し、リモコンの機能選択モードに切換える。
2. (運転切換)ボタンで表示Ⓐ基本キノウを選定。

[表示Ⓐ]　→ CHANGE LANGUAGE → キノウ制限 → 基本キノウ → 表示切替 ─┘

3. (タイマーメニュー)ボタンで、表示Ⓐリモコンを選定
4. (タイマー入切)ボタンで、表示Ⓐリモコン主従を選定。

[表示Ⓐ]　→ 主リモコン設定 リモコン 主 → 従リモコン設定 リモコン 従 ─┘

5. (運転切換)ボタンを押しながら(タイマー入切)ボタンを2秒間同時に押し、通常モードに戻る。

タイマー機能設定のしかた

下記設定が可能です。

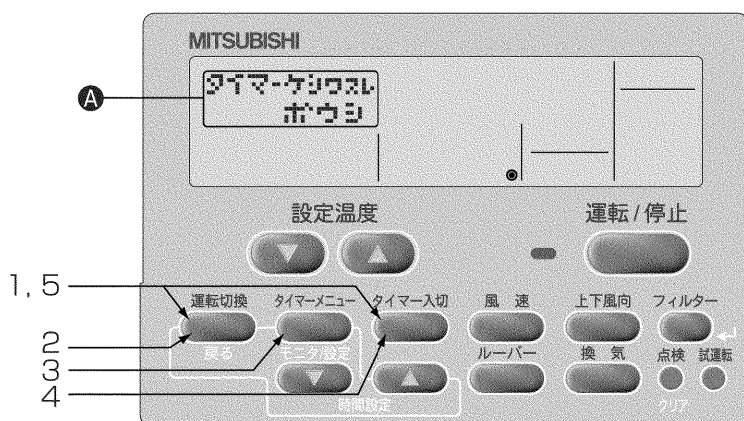
①タイマー消し忘れ防止　：消し忘れタイマー使用可能となります。
②タイマー簡易（初期設定値）　：簡易タイマー使用可能となります。
③タイマー無効　：タイマー未使用設定となります。

※下記の場合、タイマー運転は実行されません。
「タイマー停止中」「異常中」「試運転中」「リモコン診断中」「機能選択中」「タイマー設定中」「集中管理中（運転／停止操作禁止）」

1. 消し忘れ防止タイマー

●消し忘れ防止タイマーは運転開始後、設定された時間が経過した時に自動的に空調機を停止させます。
●消し忘れ防止タイマー運転の設定範囲は、30分〜4時間です。設定時間は、30分単位です。
※リモコンのタイマー機能設定は、簡易タイマーが標準設定（初期設定）となっています。
消し忘れ防止タイマーをご使用になる場合は、リモコンの機能選択でタイマー機能選択を消し忘れ防止タイマーに変更を行ってください。
注1.消し忘れ防止タイマーを選択した場合、簡易タイマーは使用できません。
（消し忘れ防止タイマーと簡易タイマーの併用はできません。）

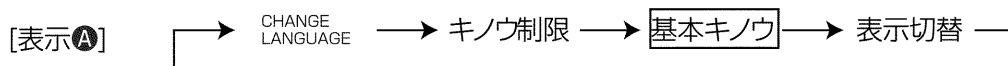
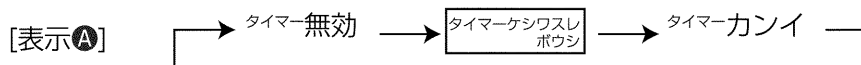
タイマー機能設定を消し忘れ防止タイマーへの設定方法

■表示例

1〜5の操作は、簡易タイマー、週間タイマーおよびタイマーなし設定から変更する場合に必要。

1. （運転切換）ボタンを押しながら（タイマー入切）ボタンを2秒間同時に押し、リモコンの機能選択モードに切換える。
2. （運転切換）ボタンで表示Ⓐ基本キノウを選定。

[表示Ⓐ]　→ CHANGE LANGUAGE → キノウ制限 → 基本キノウ → 表示切替 ─┘

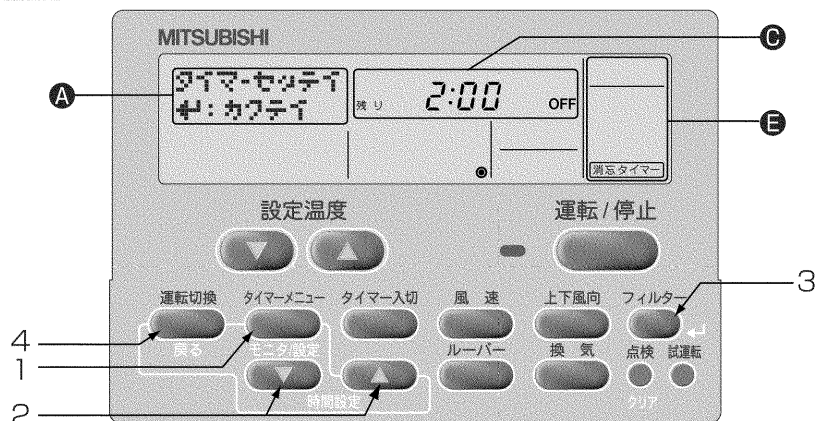
3. （タイマーメニュー）ボタンで、表示Ⓐ タイマーを選定。
4. （タイマー入切）ボタンで、表示Ⓐ タイマーケシワスレ ボウシ を選定。

[表示Ⓐ]　→ タイマー無効 → タイマーケシワスレ ボウシ → タイマーカンイ ─┘

5. （運転切換）ボタンを押しながら（タイマー入切）ボタンを2秒間同時に押し、通常モードに戻る。
※（タイマー入切）ボタンを先に押すと設定内容が変わってしまいます。

消し忘れ防止タイマーを設定する

■表示例

1. (タイマーメニュー)(モニタ/設定)ボタンを3秒間押し、表示Ⓐ タイマーセッテイ ↵:カクテイを選定。

   [表示Ⓐ] → タイマーモニター → タイマーセッテイ ↵:カクテイ

2. 時間設定（時刻設定）(▼)(▲)ボタンで時間を設定。
   （30分単位で最大4時間まで）

   [表示Ⓒ] 0:30 ↔ 1:00 ↔ — ↔ 3:30 ↔ 4:00

3. (フィルター)(↵)ボタンを押し、確定します。
4. (運転切換)(戻る)ボタンを押し、設定完了。

【設定表示例】

[表示Ⓒ] 残り 2:00 OFF 2時間	表示Ⓔ 消忘タイマー

5. 空調機が運転状態となると、消し忘れ防止タイマー運転開始となり、設定された時間が表示されタイマー運転を開始します。タイマー運転の開始を必ずご確認ください。

消し忘れ防止タイマー設定を確認するとき

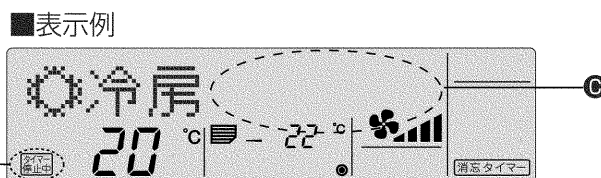
1. 画面に表示Ⓔ 消忘タイマー が表示されていることを確認します。
2. (タイマーメニュー)(モニタ/設定)ボタンを3秒押し、表示Ⓐ タイマーモニター が表示されます。
   ・設定されたタイマー時間が表示されます。
3. (運転切換)(戻る)ボタンを押すと タイマーモニター 表示が終了し、通常画面に戻ります。

■表示例

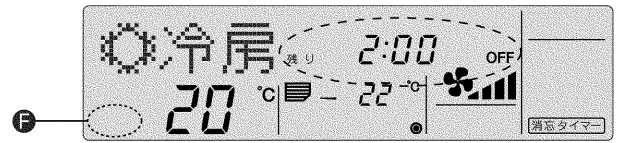
Ⓐ タイマーモニター タイマー残り 2:00 時間後 OFF 消忘タイマー Ⓔ

消し忘れ防止タイマー設定を停止（解除）するとき

1. (タイマー入切)ボタンを3秒間押し、[表示Ⓒ] タイマーを実行時間表示を消灯させます。
   ・消し忘れ防止タイマーを停止（解除）中に運転を行っている時は、表示Ⓕ タイマー停止中 が表示されます。
   ※次回運転時には、消し忘れ防止タイマーは有効になります。

■表示例

消し忘れ防止タイマーを再度開始させるとき

1．タイマー停止中に(タイマー入切)ボタンを3秒押し、表示Ⓕ[タイマー停止中]が消灯し、表示Ⓒタイマー実行時間を点灯させます。
※タイマー実行時間は、前回の設定時間が表示されます。

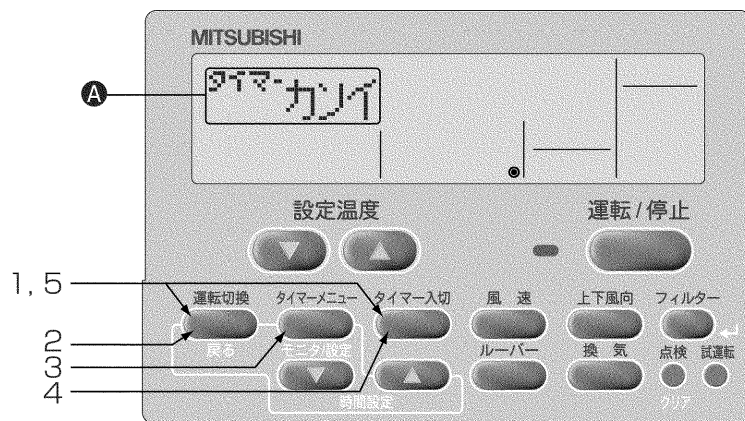
■表示例

2.簡易タイマー

■簡易タイマー運転には次の3つの方法があります。
●入タイマー運転　　運転開始のみをタイマーで行います。
●切タイマー運転　　運転終了のみをタイマーで行います。
●入⇔切タイマー運転　　運転開始／終了をタイマーで行います。

■簡易タイマー運転の設定は、72時間以内に入・切各1回以内です。
設定時間は、1時間単位です。

■簡易タイマー運転に設定されていない場合、下記に従い簡易タイマーに設定を変更してください。
初期設定は簡易タイマーになっています。

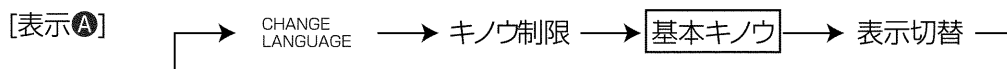
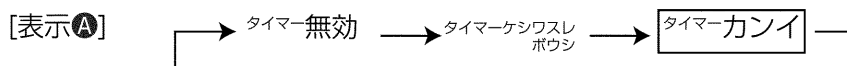
タイマー機能を簡易タイマーへの設定方法

■表示例

1～5の操作は、消し忘れ防止タイマーおよびタイマーなし設定から変更する場合に必要。

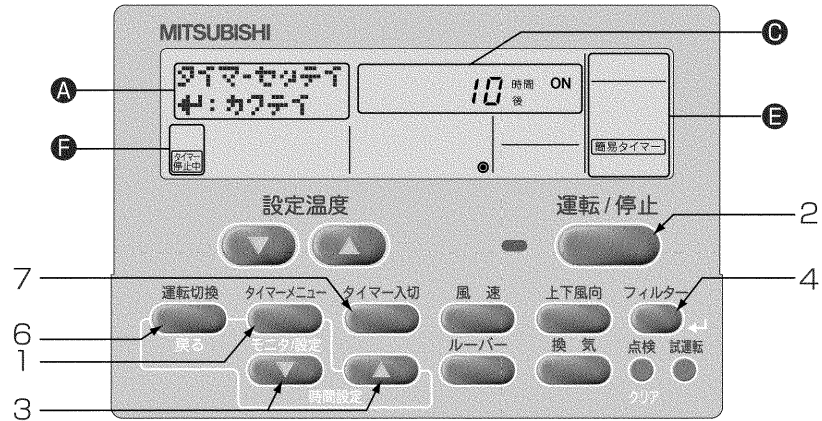
1．(運転切換)ボタンを押しながら(タイマー入切)ボタンを2秒間同時に押し、リモコンの機能選択モードに切換える。
2．(運転切換)ボタンで表示Ⓐ基本キノウを選定。

[表示Ⓐ]　→ CHANGE LANGUAGE → キノウ制限 → [基本キノウ] → 表示切替 ─┘

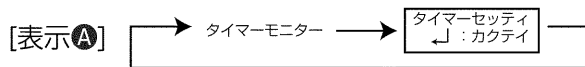
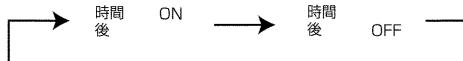
3．(タイマーメニュー)ボタンで、表示Ⓐタイマーを選定。
4．(タイマー入切)ボタンで、表示Ⓐタイマーカンイを選定。

[表示Ⓐ]　→ タイマー無効 → タイマーケシワスレボウシ → [タイマーカンイ] ─┘

5．(運転切換)ボタンを押しながら(タイマー入切)ボタンを2秒間同時に押し、通常モードに戻る。
※(タイマー入切)ボタンを先に押すと設定内容が変わってしまいます。

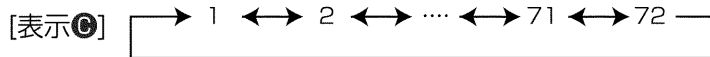
簡易タイマーを設定する

表示例

[表示Ⓔ] 簡易タイマー が表示されていることを確認します。

1. (タイマーメニュー)(モニタ/設定)ボタンを押し、表示Ⓐ タイマーセッティ ↵:カクテイ を選定。

[表示Ⓐ]

2. (運転/停止)ボタンで"入タイマー""切タイマー"を選定。

・入タイマー(運転開始時間の設定表示):"時間後ON"
・切タイマー(運転終了時間の設定表示):"時間後OFF"

3. 時間設定(時刻設定)(▼)(▲)ボタンで時間を設定。(1時間単位で最大72時間まで)

[表示Ⓒ] → 1 ⟷ 2 ⟷ ···· ⟷ 71 ⟷ 72

※設定時間を解除する場合は、(点 検)(クリア)ボタンを押す。

4. (フィルター)(↵)ボタンを押し、確定。

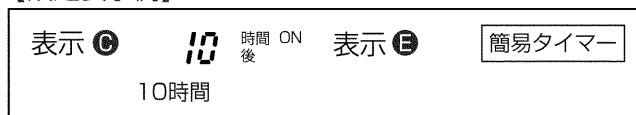
※1.入タイマーまたは切タイマーのどちらか一方のみ設定される場合は、使用しないタイマー設定の時間は"−−"表示の状態としてください。

※2.設定した時間を取り消すときは、(点 検)(クリア)ボタンを押し、時間を"−−"と表示させた後(フィルター)(↵)を押して確定させてください。

5. 入タイマー・切タイマーを両方使用するときは、上記2〜4で運転開始時間/運転終了時間の両方の設定を行ってください。

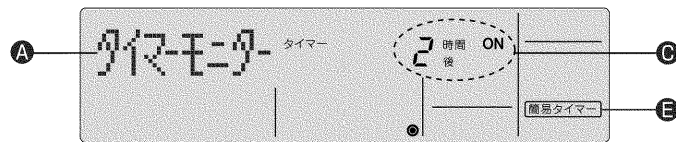
※入タイマー・切タイマーを同時間に設定することはできません。

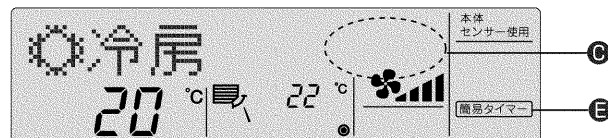
6. (運転切換)ボタンを押し、設定完了。

【設定表示例】

7. (タイマー入切)ボタンを押し、簡易タイマー運転開始となり、設定されたタイマー実行時間が表示されます。

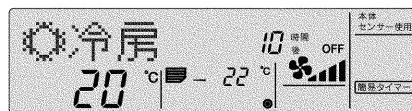
入タイマー・切タイマーの両方が設定された場合は、実行時間の早い方の内容を表示する。

簡易タイマー設定を確認するとき

1. 画面に表示Ⓔ 簡易タイマー が表示されていることを確認します。
2. (タイマーメニュー)（モニタ/設定）ボタンを押して、モニター表示画面表示Ⓐ タイマーモニター を表示させます。
   ・表示Ⓒに設定されている入タイマーまたは切タイマー時間が表示されます。
3. (運転切換)（戻る）ボタンを押すと、タイマーモニター 表示が終了し、通常画面に戻ります。

簡易タイマー運転を停止（解除）するとき

1. (タイマー入切)ボタンを押し、タイマー実行時間表示を消灯させせます。

簡易タイマー設定表示例

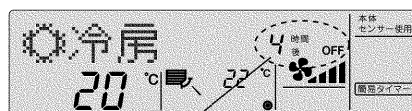
①入タイマー運転：2時間後 運転開始

②切タイマー運転：10時間後 運転停止

③タイマー停止（解除）中

タイマー実行時間消灯

④入タイマー，切タイマーの両方が設定されている場合の表示

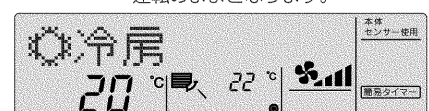
例1：入タイマーから開始する場合
入タイマー設定時間：3時間後ON
切タイマー設定時間：7時間後OFF

7時間経過後以降は操作があるまで停止のままとなります。

タイマー開始
入タイマー時間を表示

3時間後
切タイマー時間－入タイマー時間を表示

7時間後

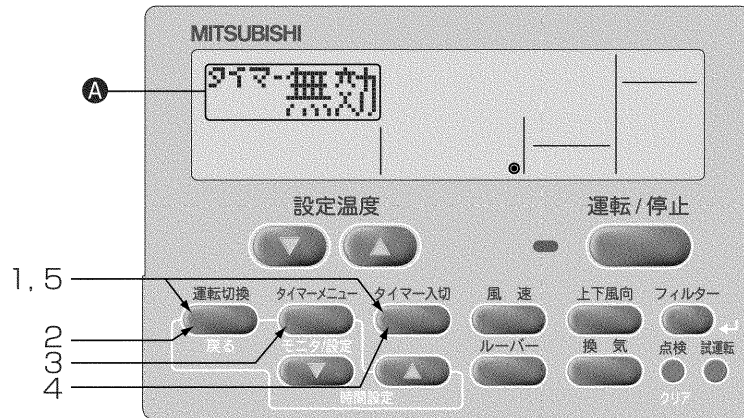
例2：切タイマーから開始する場合
切タイマー設定時間：2時間後OFF
入タイマー設定時間：5時間後ON

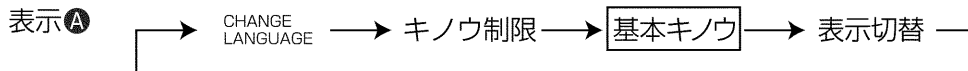
5時間経過後以降は操作があるまで運転のままとなります。

タイマー開始
切タイマー時間を表示

2時間後
入タイマー時間－切タイマー時間を表示

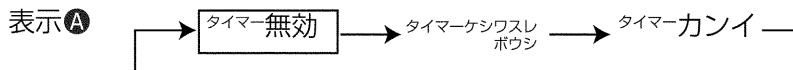
5時間後

3. タイマー無効

タイマー未使用設定となります。　■表示例

タイマーを無効にする

1. （運転切換）ボタンを押しながら（タイマー入切）ボタンを2秒間同時に押し、リモコン機能選択モードに切換える。
2. （運転切換）ボタンで表示Ⓐ基本キノウを選定。

表示Ⓐ　→ CHANGE LANGUAGE → キノウ制限 → 基本キノウ → 表示切替 ─┘

3. （タイマーメニュー）ボタンで、表示Ⓐタイマーを選定。
4. （タイマー入切）ボタンで、表示Ⓐタイマー無効を選定。

表示Ⓐ　→ タイマー無効 → タイマーケシワスレボウシ → タイマーカンイ ─┘

5. （運転切換）ボタンを押しながら（タイマー入切）ボタンを2秒間同時に押し、通常モードに戻る。
   ※（タイマー入切）ボタンを先に押すと、設定内容が変わってしまいます。

異常時の連絡先表示設定のしかた

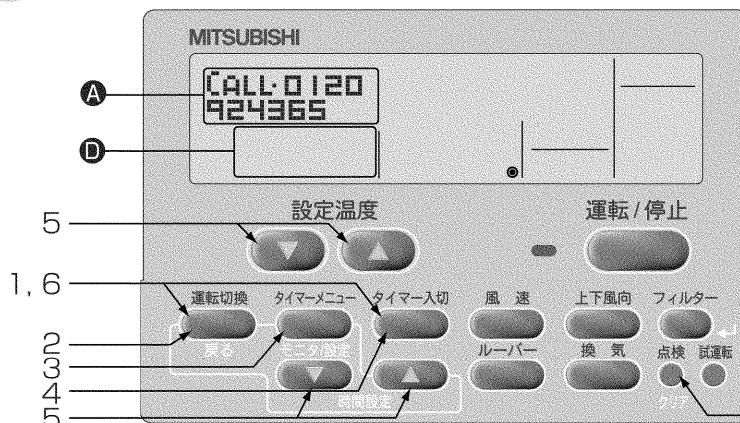
下記設定が可能です。

①CALL・OFF（初期設定）　：異常時に設定した電話番号は表示されません。

②CALL・0120＊＊＊＊＊＊＊＊　：異常時に設定した電話番号を表示します。

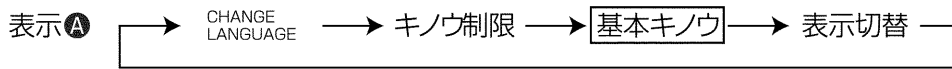
（CALL・－　：工場出荷時は、電話番号は設定されておらず、左記のようになっています。）

異常時の連絡先を設定する

■表示例

1. (運転切換)ボタンを押しながら(タイマー入切)ボタンを2秒間同時に押し、リモコンの機能選択モードに切換える。
2. (運転切換)ボタンで表示Ⓐ基本キノウを選定。

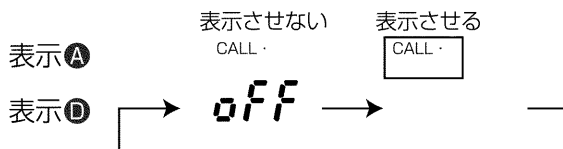
表示Ⓐ → CHANGE LANGUAGE → キノウ制限 → 基本キノウ → 表示切替

3. (タイマーメニュー)ボタンで表示ⒶCALLを選定。

[表示Ⓐ] → タイマー → CALL・ → リモコン

4. (タイマー入切)ボタンで電話番号を“表示させる”“表示させない”を選定。

表示させない　表示させる

表示Ⓐ CALL・ → CALL・

表示Ⓓ oFF →

5. 時間設定(時刻設定)(▼)(▲)ボタンで番号を設定し、設定温度(▼)(▲)ボタンで入力位置を移動させる。

最大12桁の表示が可能です

【012と入力する場合】

表示Ⓐ CALL・012_

「0」→時間設定（時刻設定）(▲)ボタンを1回押す。

番号を入力するごとに、設定温度(▲)ボタンを1回押し、カーソルをひとつ右に移動させる。

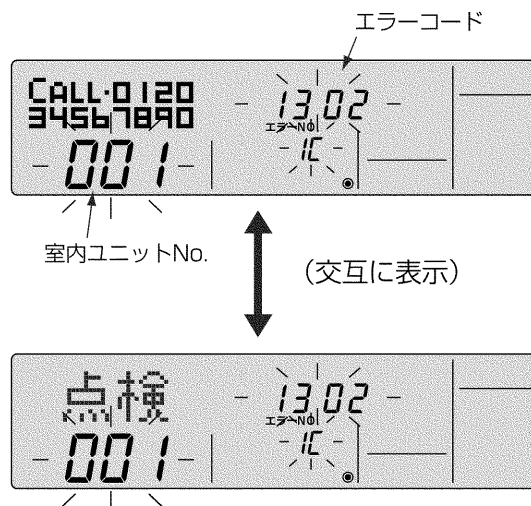
「1」→時間設定（時刻設定）(▲)ボタンを2回押す。

「2」→時間設定（時刻設定）(▲)ボタンを3回押す。

6. (運転切換)ボタンを押しながら(タイマー入切)ボタンを2秒間同時に押し、通常モードに戻る。
※(タイマー入切)ボタンを先に押すと、設定内容が変わってしまいます。
7. (点　検)ボタンを押すと、表示Ⓐに5秒間電話番号が表示される。

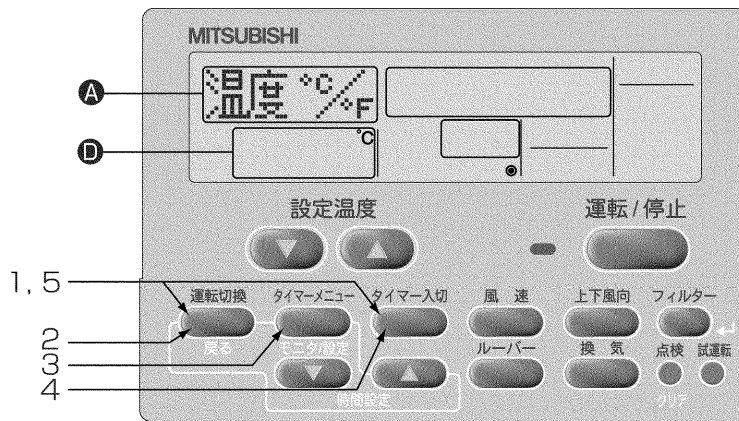
●異常時の連絡先が設定されている場合、異常時にエラーコードと連絡先の電話番号が交互に表示されます。

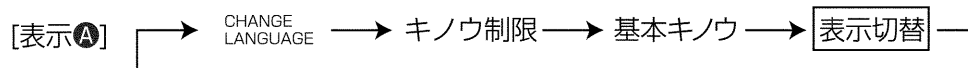
表示切換のしかた

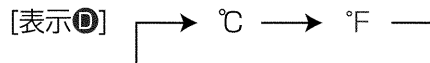
1. 温度表示℃／°F設定方法

下記設定が可能です。

①℃（初期設定）　：温度表示単位を摂氏表示にします。
②°F　：温度表示単位を華氏表示にします。

温度表示℃/°Fを切換える

■表示例

. （運転切換）ボタンを押しながら（タイマー入切）ボタンを2秒間同時に押し、リモコンの機能選択モードに切換えます。
. （運転切換）ボタンで表示A 表示切替 を選定します。

[表示A] → CHANGE LANGUAGE → キノウ制限 → 基本キノウ → 表示切替

. （タイマーメニュー）ボタンで表示A 温度℃/°F を選定します。
. （タイマー入切）ボタンで表示D ℃ または °F を選定します。

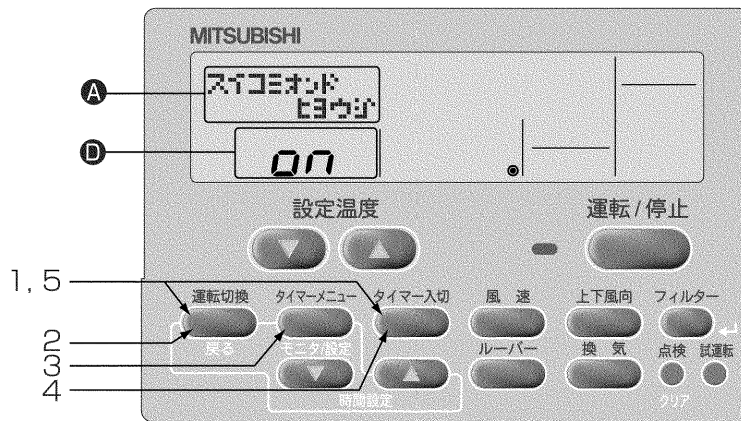
[表示D] → ℃ → °F

. （運転切換）ボタンを押しながら（タイマー入切）ボタンを2秒間同時に押し、通常モードに切換えます。
※（タイマー入切）ボタンを先に押すと設定内容が変わってしまいます。

■温度表示“℃”設定時の表示例

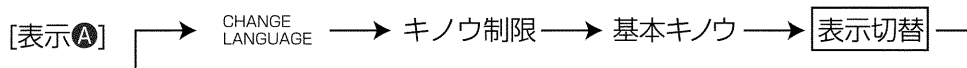
■温度表示“°F”設定時の表示例

2. 吸込温度表示設定方法

下記設定が可能です。
①ON（初期設定）　　：吸込温度を表示にします。
②OFF　　　　　　　：吸込温度は表示されません。

吸込温度表示の有無を切換える

■表示例

. （運転切換）ボタンを押しながら（タイマー入切）ボタンを2秒間同時に押し、リモコンの機能選択モードに切換えます。
. （運転切換）ボタンで表示Ⓐ［表示切替］を選定します。

[表示Ⓐ] → CHANGE LANGUAGE → キノウ制限 → 基本キノウ → ［表示切替］

. （タイマーメニュー）ボタンで表示Ⓐ［スイコミオンドヒョウジ］を選定します。
. （タイマー入切）ボタンで表示Ⓓ［o n］または［o F F］を選定します。

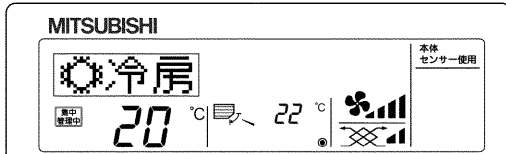
[表示Ⓓ] → on → oFF

. （運転切換）ボタンを押しながら（タイマー入切）ボタンを2秒間同時に押し、通常モードに切換えます。
※（タイマー入切）ボタンを先に押すと設定内容が変わってしまいます。

■吸込温度表示“ON”設定時の表示例

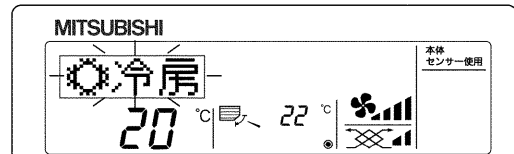
■吸込温度表示“OFF”設定時の表示例

(4) その他の表示・点滅について

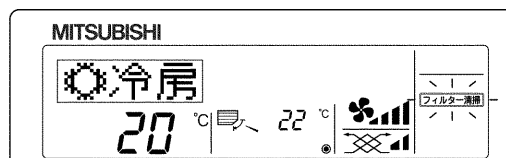
集中管理中表示

●集中コントローラーや外部信号等で、操作を制限しているときに表示します。制限される操作は以下のとおりです。
・運転/停止
・運転モード
・設定温度

お知らせ

●個々に制限される場合もあります。

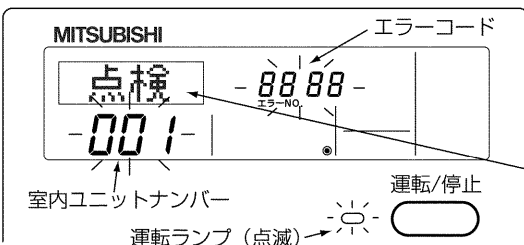
運転モードの点滅

●点滅のままの場合
室外ユニットに接続された他の室内ユニットが、すでに異なる運転モードで運転している場合に表示します。
他の室内ユニットの運転モードに合わせてください。
●点滅した後モードが切換わる場合
集中コントローラー等で、運転モードの操作をシーズン毎に制限しているときに表示します。
他の運転モードをご使用ください。

フィルター清掃の点滅

※出荷時は表示しない設定にしています。表示を行う場合は、販売店にご相談ください。

●フィルター清掃時期をお知らせします。
本ユニットは、一般的な空気条件で使用した場合、おおよそ下記の時間ごとおよびシーズン始めと終わりに清掃してください。
1250時間（1回/週点検し、汚れ具合に応じて清掃することをおすすめします。）
● **"フィルター清掃" 表示をリセットする場合**
フィルター清掃後、(フィルター)ボタンを2度押すと表示が消えリセットされます。
その際データモニタリング機能のフィルター使用時間もリセットされますので、ご注意ください。

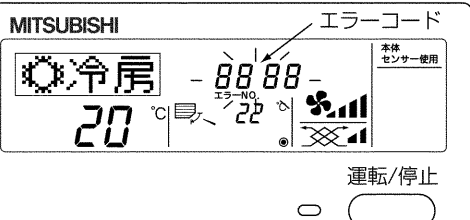
お知らせ

● "フィルター清掃" 表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を目安時間で表示しているものです。環境条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

エラーコードの点滅

"異常時の連絡先" が設定されている場合は、異常時に連絡先の電話番号が表示されます。
設定方法については『(3)リモコンの機能選択のしかた』をご参照ください。

※点検ボタン押し時の表示

"異常時の連絡先" が設定されている場合は、点検ボタンを1回押すと連絡先の電話番号を表示します。
設定方法については『(3)リモコンの機能選択のしかた』をご参照ください。

●「運転ランプ」と「エラーコード」3の両方が点滅している場合は、空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
ユニットナンバー、エラーコードを確認のうえ、空調機の電源を切り、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。

●「エラーコード」のみが点滅している場合（運転ランプは点灯したまま）、空調機は運転を継続していますが、障害が発生している可能性があります。
エラーコードを確認のうえ、お買い上げの販売店、または工事店にサービスをお申しつけください。

（5）運転温度範囲のめやす

・中温用

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	—	−15〜43℃
湿球温度	10〜25℃（注1）	—

・低温用

	室内側吸込空気	室外側吸込空気
乾球温度	—	−5〜43℃
湿球温度	5〜13.5℃	—

注1.中温用は露点温度23℃以上で長時間運転されますと、室内ユニットの結露水が垂れて水漏れに至るおそれがあります。

もっと知りたいとき

送風運転

●送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。換気装置との連動運転を行うと、より効果的な換気ができます。

換気連動運転とは

●エアコンの運転を開始すると、自動的に換気装置も運転を開始し、室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

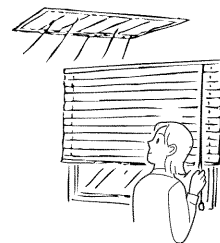
上手な使い方

上手な使い方　“インバーターエアコン”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

室内温度（室温）は最適に

●冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
●冷やしすぎは健康にもよくありません。電力のムダ使いにもなります。
たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

冷房時は熱の侵入を少なく

●冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
●出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。

長時間直接お肌に風をあてない

●長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因になります。
●特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。

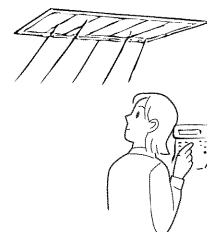
フィルターの清掃を

●フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。また、露付き・露たれの原因にもなります。
●フィルターは通常の環境では22ページに記載の時間ごとおよびシーズンの始めと終わりに清掃してください。
●操作部（MAスムースリモコン）は、フィルターサイン表示が可能です。

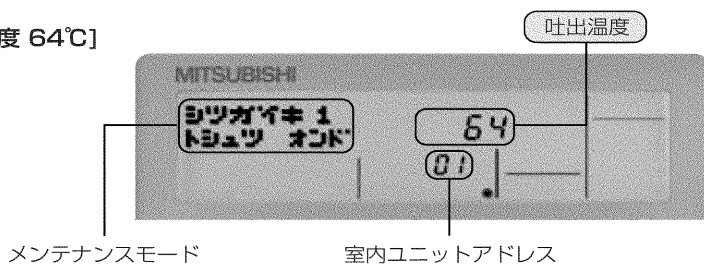
ときどき換気を

●長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
●送風運転は、お部屋の空気を循環させるはたらきをします。
●冷房運転をしない時期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。
当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

室内の温度ムラ解消に風向調節を

●冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重いので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
※風向調節は別売プレナムチャンバーを取付け、リモコンでの操作となります。手動で調節は行わないでください。

データモニタリング機能

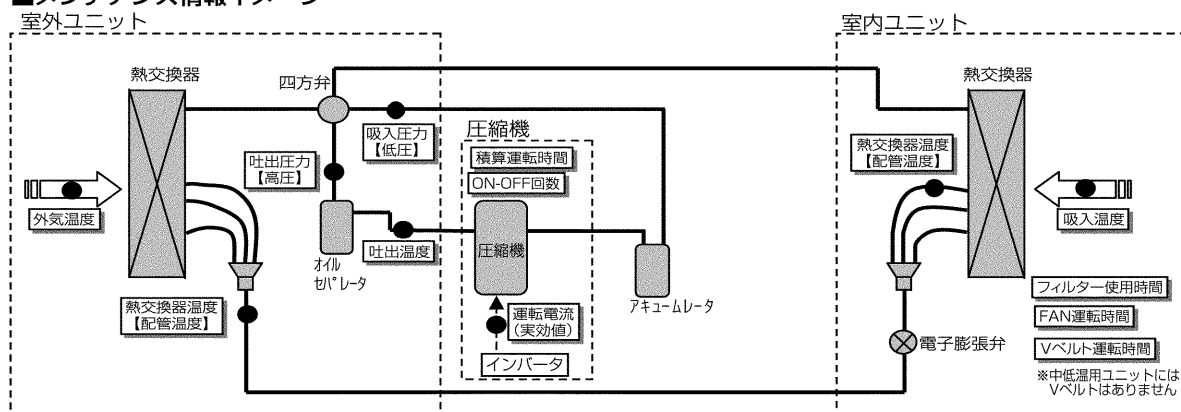
●作業の手間を大幅に削減します。
●室内に居ながら室外・内ユニットの運転データをリモコンで確認可能です。

■表示例[吐出温度 64℃]

■メンテナンス情報（単位）

圧縮機	積算運転時間	10時間
	ON-OFF回数	100回
	運転電流	A
室外ユニット	熱交換器温度【配管温度】	℃
	外気温度	℃
	吐出圧力【高圧】	MPa
	吸入圧力【低圧】	MPa
	吐出温度	℃

室内ユニット	熱交換器温度【配管温度】	℃
	吸込温度	℃
	フィルター使用時間	1時間
	FAN運転時間	10時間
	Vベルト運転時間　※	10時間

※中低温用ユニットには、Vベルトはありません。

■メンテナンス情報イメージ

運転時間積算利用時の注意事項

（1）最大積算時間

最大積算時間は右表のとおりです。運転時間が最大積算時間を超えた場合、リモコン表示は最大積算時間で固定されます。

項　目	最大積算時間
圧縮機積算運転時間	99990時間
フィルター使用時間	4095時間
FAN運転時間	81910時間

（2）運転時間のリセット

圧縮機積算運転時間はリセットできません。
フィルター使用時間は“フィルター清掃”表示設定時に（フィルター）ボタンを2度押すとリセットできます。
非表示設定時はリセットできません。
FAN運転時間のリセットは27ページをご覧ください。

（3）端数の取扱い

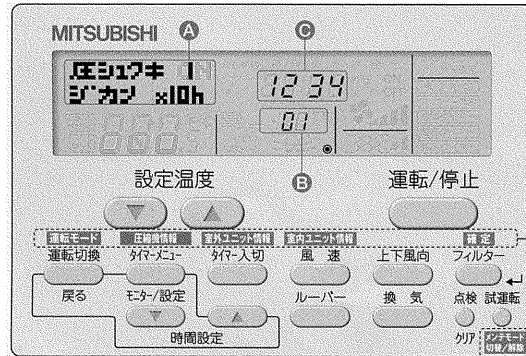
通電が停止するとカウントされる前の端数（FAN運転時間は1～9時間、圧縮機積算運転時間,フィルター使用時間は1～59分）は0に戻ります。
運転時間積算を利用する時は、通電したままにしてください。
なお、通電が停止してもすでにカウントされた積算時間（FAN運転時間は10時間単位以上、圧縮機積算運転時間,フィルター使用時間は1時間単位以上）は保持されます。

（1）メンテナンスモード操作方法

＊データモニタリング機能を使用する時は室外・室内ユニットのパネルを外さないでください（ユニットが運転した場合ケガをするおそれがあります）。

●メンテナンスモードへの切換え

メンテナンスモードには、運転中にのみ切換えしてください。
※ユニット停止中・点検中はメンテナンスモードへ切換えしないでください。
※試運転中は入れません。
※リモコン従設定の場合は、メンテナンスモードには入れません。

■MAスムースリモコン操作スイッチ詳細

※本記載は実際のリモコンにはありません。

1. (試運転)ボタンを3秒間押し、メンテナンスモードに切換える。

[表示A] メンテモード

※メンテナンスモード切換時、運転ランプは消灯します。

●データ測定

メンテナンスモードになったら、メンテナンスデータを計測します。

2. 設定温度 (▼)(▲) ボタンで室内ユニットアドレスを選定。

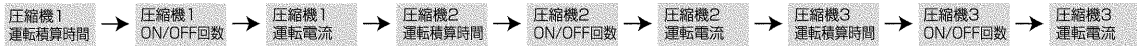
※室外ユニットのデータを見る場合、各室外ユニットに接続している室内ユニットアドレスを選定してください。（操作例参照）

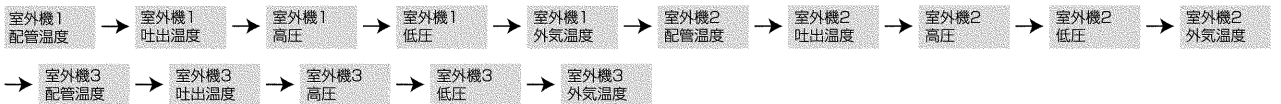
[表示B] → 01 ↔ 02 ↔ ····· ↔ 50 ←

※接続されている室内ユニットの最小のアドレスを表示します。

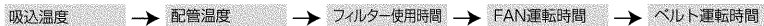
3. 表示させるデータの種類を選定。
いずれか1つを選択したら4へ

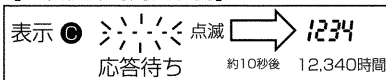
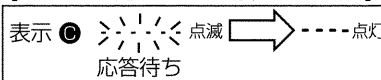
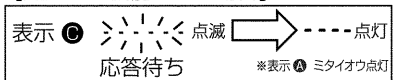
圧縮機情報

(タイマーメニュー)ボタン押しにて、表示させる圧縮機情報の種類を選定
ボタンを押し続けると早送りになります。

室外ユニット情報

(タイマー入切)ボタン押しにて、表示させる室外ユニット情報の種類を選定
ボタンを押し続けると早送りになります。

室内ユニット情報

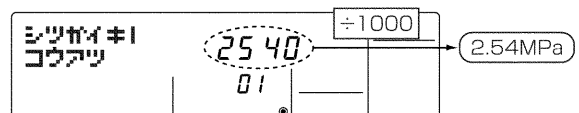
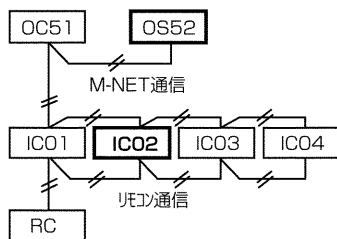
(風 速)ボタン押しにて、表示させる室内ユニット情報の種類を選定
ボタンを押し続けると早送りになります。

吸込温度 → 配管温度 → フィルター使用時間 → FAN運転時間 → ベルト運転時間

4. (フィルター)↵ボタンを押し、確定

【運転積算時間表示例】

【選定した室内ユニットが存在しない場合】

【選定した機能がない場合】

5. 表示Cにデータが表示される。
表示されるデータの読み方についてはP26のメンテナンス情報（単位）参照。
ただし、吐出,吸入圧力のデータについては右記参照。
圧縮機の運転電流はインバータから圧縮機への電流の実効値になります。
3~5の操作の繰り返しで各データを確認できます。

6. メンテナンスモードを解除する場合は、(試運転)ボタンを3秒押す。または(運転/停止)ボタンを押す。

吐出圧力（高圧）、吸入圧力（低圧）の数値読み取り方法

リモコン表示値を1000で割った値を読み取り願います。
（例）リモコン表示「2540」→読み取り「2.54MPa」

●操作例

－操作例－

■左記システムのOS52の情報をモニターする場合

①室内ユニットアドレス**01**、**02**、**03**、**04**のいずれかを設定します。

モニターする各ユニットの表示は下記となります。
·室外ユニット1＝OC51 ·室外ユニット2＝OS52 ·圧縮機1　＝OC51 ·圧縮機2　＝OS52

②室外ユニット**2**のモニターしたい項目を設定します。

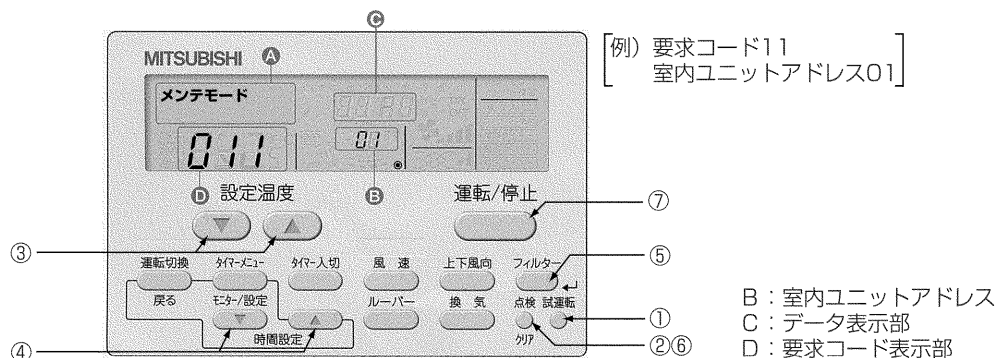
■IC02の情報をモニターする場合

①室内ユニットアドレス**02**を設定します。

②室内ユニットのモニターしたい項目を設定します。

(2) ファン運転時間リセット操作方法

1．リセット操作画面への移行操作

■MAスムースリモコン操作スイッチ詳細

①（試運転）ボタンを3秒間押し、メンテナンスモードに切換え表示 Ⓐ メンテモード

②（点　検）ボタンを3秒間押して、【リセット操作画面】に移行します。

注）メンテナンスモードでデータ要求中（表示Ⓒが"－－－－"点滅中）は、各ボタン操作無効のため切換えはできません。

2．リセット操作画面での操作

リセット操作画面】に移行すると、表示Ⓓが"－－－"点灯します。
表示Ⓓ部分が、要求コードNo.の設定表示部になります。）

③設定温度（▼）（▲）ボタンで室内ユニットアドレスを選定。

※2冷媒機種の場合、各室外ユニットに接続している室内ユニットアドレスを選定してください。(操作例参照)

[表示Ⓑ] → 01※ ←→ 02 ←→ ······ ←→ 50 ←

※接続されている室内ユニットの最小のアドレスを表示します。

④時間設定（▼）（▲）ボタンで、要求コードNo.下記注）を設定してください。

注）モータ交換時のファン運転時間リセット：要求コードNo.11

⑤（フィルター）ボタンを押してリセットが行われます。
表示Ⓒに0が表示されます。

3．リセット操作画面の操作解除

⑥【リセット操作画面】中に、もう一度（点　検）ボタンを3秒間押すと、【メンテナンスモード】に切換わります。

⑦（試運転）ボタンを3秒間押す、または（運転／停止）ボタンを押すと、通常モードに戻ります。

4．運転時間積算利用時の注意事項

通電が停止するとカウントされる前の端数（1～9時間）は0時間に戻ります。
運転時間積算を利用する時は、通電したままにしてください。
なお、通電が停止してもすでにカウントされた積算時間（10時間単位以上）は保持されます。

その他

（1）リモコン仕様

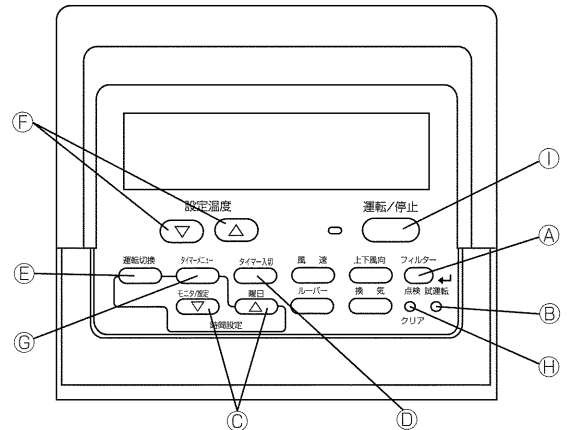
項目	内容
製品寸法	120（H）X130（W）X19（D）mm
質量	0.2kg
電源	DC12V　室内ユニットのリモコン線より受電
使用環境	温度　0～40℃ 湿度　30～90%RH（結露なきこと）
材質	PS
据付方法	JIS8340の2個用のスイッチボックス（現地手配）への取付け、または壁に直付け。 MAスムースリモコン線は、無極性2線でMAスムースリモコン専用端子に接続。 使用電線 0.3mm^2～1.25mm^{2}の電線を現地にて調達するか PAC-YT81HC(10m), PAC-YT82HC(20m)を使用 最大配線長 max 200m

(2) リモコンによる自己診断

1. ユニットの自己診断

1.1 運転中に不具合が生じた場合

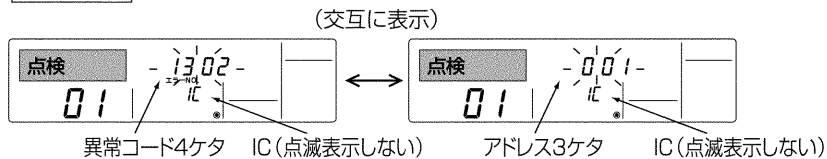
エアコンに不具合が生じると、室内ユニット、室外ユニットとも停止、"何が不具合なのか"デジタル表示します。

ドット表示部に"点検"および設定温度表示部にユニットアドレスが表示され下図のように点検コードとユニット号機を交互に表示します。

① (異常発生ユニットが室外ユニットの場合はユニット号機は00となります。)

② 1リモコンで複数冷媒のグループ制御方式を採用している場合の表示は最初に不具合が発生(点検コードを受信)したユニットのアドレスと点検コードを液晶表示します。

③点検コードの解除は① 運転/停止 ボタンを押してください。

(交互に表示)

異常コード4ケタ　IC(点滅表示しない)　アドレス3ケタ　IC(点滅表示しない)

[ただし、遠方・手元併用の遠方操作時およびMELANSの上位コントローラによる集中管理中はリモコンでの解除ができません。遠方OFFで解除並びに上位コントローラの 運転/停止 ボタンで解除してください。]

1.2 メンテナンスサービス時の自己診断のしかた

各ユニットには、エラーコードを記憶する機能が付いていますので、リモコンでエラー表示解除、または電源がOFFされても、下記操作で最新の点検コードが検索できます。

リモコンにて各ユニットのエラーコード履歴を検索します。

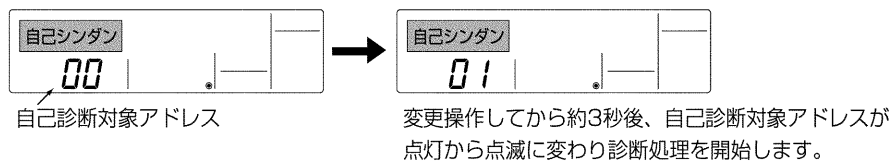
①自己診断モードに切換えます。

Ⓗ 点検 ボタンを3秒以内に2回押すと、下図の表示になります。

②自己診断したいアドレスを合わせます。

Ⓕ ▼ ▲ (設定温度)ボタンを押すと01～50の間で前後するので自己診断したい自己診断対象アドレスNo.に合わせます。

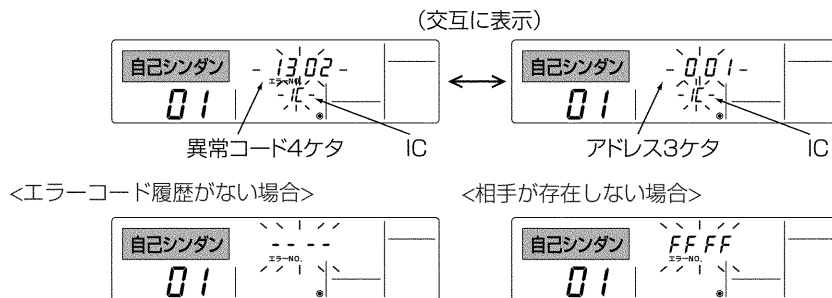
自己診断対象アドレス

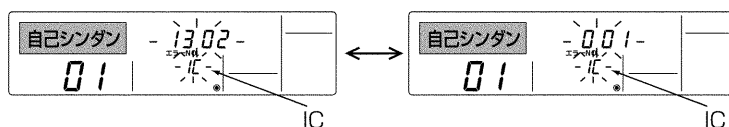
変更操作してから約3秒後、自己診断対象アドレスが点灯から点滅に変わり診断処理を開始します。

③診断結果表示

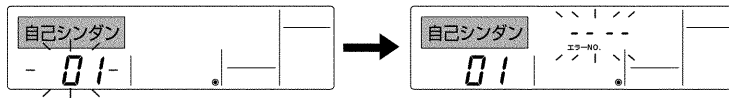
〈エラーコード履歴がある場合〉(エラーコードの内容は室内ユニットの据付工事説明書またはサービスハンド ブックをご覧ください。)

(交互に表示)

<エラーコード履歴がない場合>

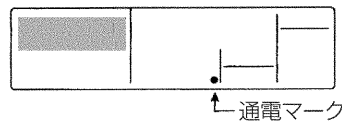
<相手が存在しない場合>

④異常履歴リセット操作

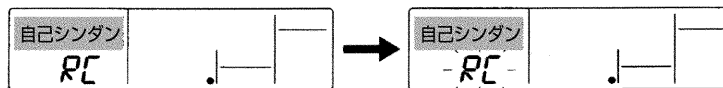
③の診断結果表示画面にて異常履歴を表示させます。

Ⓓ タイマー入切 ボタンを連続で3秒以内に2度押しすると自己診断対象アドレスが点滅します。

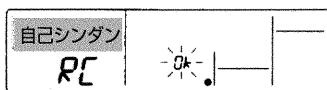
異常履歴がリセットされた場合、下図の表示になります。
なお、異常履歴リセットに失敗した場合は異常内容が再度表示されます。

⑤ 自己診断の解除
自己診断の解除には次の2通りの方法があります。
Ⓗ 点検 ボタンを3秒以内に2度押す → 自己診断を解除し、自己診断前の状態になります。
Ⓘ 運転／停止 ボタンを押す → 自己診断を解除し、室内ユニットが停止となります。
（操作禁止状態時、この操作は無効です。）

2. リモコン診断

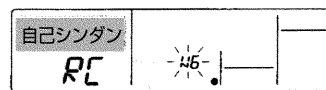
リモコンからの操作がきかない場合、本機能により、リモコン診断を行ってください。

①まずは通電マークを確認してください。
リモコンに正常な電圧（DC12V）が印加されていない場合、通電マークは消灯しています。
通電マークが消えている場合は、リモコン配線、室内ユニットを点検してください。

②リモコン診断モードに移行
Ⓗ 点検 ボタンを5秒以上押し続けると、下図の表示になります。

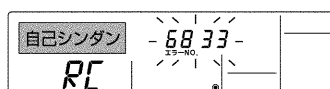
Ⓐ フィルター ボタンを押すと、リモコンの診断を開始します。

③リモコン診断結果

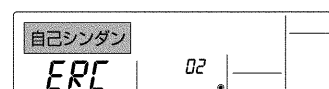
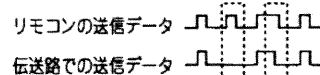
リモコン正常時

リモコンに問題はありませんので他の原因を調査してください。

リモコン不良時

（異常表示1）「NG」が点滅→リモコン送受信回路不良

リモコンの交換が必要です。

リモコン診断したリモコン以外に問題が考えられる場合

（異常表示2）「6833」「6832」が点滅→送信不可

伝送路ノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のコントローラーを調査してください。

（異常表示3）「ERC」とデータエラー数を表示→データエラーの発生

データエラー発生数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差の意味します。この場合、ノイズ等の影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。

④リモコン診断の解除
Ⓗ 点検 ボタンを5秒以上押すと、リモコン診断を解除し、「PLEASE WAIT」、運転ランプが点滅し、約30秒後、リモコン診断前の状態に戻ります。

お手入れのしかた

⚠注意
掃除をするときは運転を停止し、電源スイッチを切る。
運転中は内部でファンが高速運転しており、ケガの原因になります。

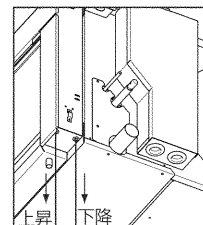
⚠注意
製品内部の金属エッジに素手で触れない。
熱交換器などに触れると、ケガの原因になります。

エアフィルターの清掃

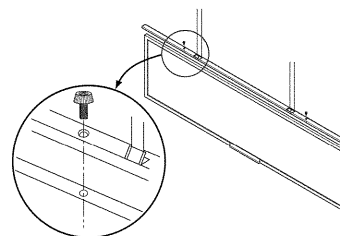
・エアフィルターにゴミがたまると、冷暖房能力の低下や故障の原因になります。

1 エアフィルターを取外す。

1.フィルター昇降方法

フィルターを降下させる：本体に近い方のチェーンを引っ張る。
フィルターを上昇させる：吸込み側のチェーンを引っ張る。
※フィルター収納後、無理な力で引張らないでください。チェーン切れのおそれがあります。
※フィルター上昇時、"カチカチカチ"というラチェット動作音がしますが、異常ではありません。
※チェーンがねじれた状態で昇降作業はしないでください。必ず、ねじれを直し、作業を行ってください。
※昇降作業（チェーンの引っ張り）はゆっくりと行ってください。
※昇降時以外はチェーンに引掛からないよう束ねるか、邪魔にならない場所に固定してください。

2.フィルター取外し方法

手袋等の保護具を着用し、作業を行ってください。

フィルター取付け枠にフィルターを固定しているツマミネジ（2カ所）を外してください。
※ヒモを固定している金具固定ネジを外さないでください。
※ヒモに傷をつけたり、火をつけたりしないでください。

⚠注意
フィルターを取外すときは目にホコリが入らないように注意してください。また踏台に乗って行う時は、転倒しないように注意してください。

⚠注意
フィルターを取外した状態で運転をしないでください。内部にゴミなどが詰まり、故障の原因となります。

⚠注意
フィルターの清掃は専門の業者に依頼してください。

2 取外したエアフィルターのホコリを掃除機で吸取るか、水洗いする。

●汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗ってください。
●50℃以上の熱いお湯をかけないでください。変形することがあります。
●もみ洗いや強く絞ることはさけてください。
●すすぎは十分に行い、洗剤が残らないようにしてください。
●オイルミスト雰囲気でご使用の場合、フィルターに付着したオイルが垂れ、オイルパンに溜まっている可能性がありますので定期的に点検、清掃を行ってください。

3 水洗いしたときは、日陰でよく乾かす。

直射日光や直接火に当てて乾かさないでください。変形・変色することがあります。

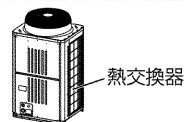
4 エアフィルターを元どおりに取付ける。

パネルの清掃

中性洗剤をやわらかな布にふくませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭きとります。

ベンジン・シンナーは使用しない。

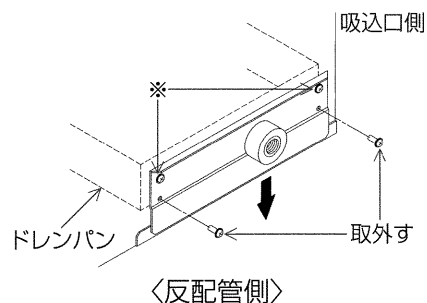
熱交換器の洗浄

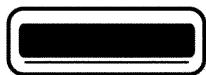
長時間エアコンを使用しますと、エアコンの熱交換器にホコリなどがつき、熱交換が悪くなって冷房能力が低下します。
洗浄方法についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

熱交換器の洗浄

熱交換器にゴミ、ホコリ、オイル等が付着すると能力低下、水漏れの原因となりますので定期的に洗浄を行ってください。
洗浄方法についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

●熱交換器洗浄時、反ドレン配管側から洗浄液を排出することができます。
右図に示すネジを外し、排水口を下げることで容易に排水が行えます。

注意	・※印部のネジは外さないでください。 水漏れの原因になります。 ・洗浄後は必ず元に戻し、排水口に栓をしてください。 ・ドレン配管は内側から塞いでください。

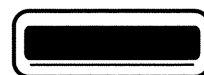
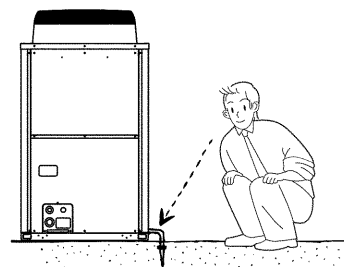
〈反配管側〉

長期間ご使用にならないとき

(1)4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。

(2)室内・室外ユニットの電源を切る。

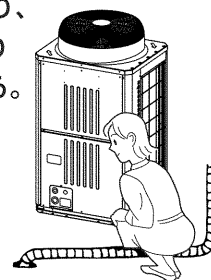
再度使い始めるとき

■下記作業(1)～(4)の点検を行い、異常のないことを確認後、電源を入れてください。

(1)フィルターを清掃して、取付ける。

(2)室内・室外ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。

(3)アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。

⚠注意

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しないでください。アース工事に不備があると、感電、発煙、発火およびノイズによる誤作動の原因になります。アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。

(4)ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。

(5)運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。

「故障かな？」と思ったら

●動かない！

症状	処置
リモコンの運転表示が点灯しない。	■電源が入っていないことが考えられます。電源をご確認ください。ユニットの電源が入っていないと、リモコンに通電表示（◉）が点灯しません。
リモコン表示部に“集中管理中”の表示がでている。	■集中コントローラー等で、操作を制限されている場合に表示します。 ■運転操作設定を遠方（外部）入力にしている場合に表示します
リモコンの運転表示が点灯するが、室外ユニットが運転しない。	■室内ユニット、もしくは室外ユニットへデマンド入力されている場合、室外ユニットが運転しません。

●勝手に動き出した！

症状	処置
運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	■リモコンで入タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を開始します。 ■外部入力信号にてON操作した場合に運転を開始します。 ■集中コントローラー等で、操作した場合に運転を開始します。 ■電源発停機能に設定している場合、室内ユニットの電源を入れると自動的に運転を開始します。 ■停電自動復帰機能に設定している場合は、運転中に停電または電源を切ったとき電源を入れると、自動的に運転を開始します。 ※電源発停機能および停電自動復帰機能を使用しない場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

●勝手に停止した！

症状	処置
運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	■リモコンで切タイマー運転を設定されていると指定された時刻に自動的に運転を停止します。運転・停止ボタンを押して運転を再開してください。 ■外部入力信号にてOFF操作した場合に運転を停止します。 ■外部入力信号を重複して入力すると運転を停止します。

●よく冷えない！

症状	処置
よく冷えない。	■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。 ■フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下している場合は、フィルターの清掃をしてください。 ■室内ユニットの吹出口・吸込口が塞がれている場合は、室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したがすぐ冷房運転しない。	■空調機を保護するため、マイコンの指示で止まっています。再運転をした場合は、冷房運転するまで約3分間お待ちください。

●音がする！

水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。

■ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。異常ではありません。
※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

“ピシッ、ピシッ”という音がする。

■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。異常ではありません。
※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

●水蒸気・水（室内ユニット）が出る！

室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。

■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。

室外ユニットより水・水蒸気がでる。

■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。

●リモコン設定および表示について

リモコンのタイマー運転がセットできない。

■スケジュールタイマーが接続されている場合は、スケジュールタイマーでセットしてください。

リモコンに“PLEASE WAIT”の表示がでる。

■初期設定（約5分）を行っているためです。そのままお待ちください。停電からの復帰時や室内ユニットまたは室外ユニットの電源を入切した場合など表示します。

リモコンにエラーコードが表示される。

■自己診断機能が作動してエアコンを保護しています。
※自分では絶対に修理しないでください。エアコンの電源を切り、お買い上げの販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

保証とアフターサービス

■この製品は日本国内用ですので、日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

■ご不明な点や修理に関するご相談はお客様相談窓口（別添）にお問い合わせください。

■機器予防保全の目安 [保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

下記は、以下のご使用条件の場合です。

（1）頻繁な発停のない、通常のご使用状態である事。（機種によって異なりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）

（2）製品の運転時間は、10時間／日、2,500時間／年と仮定しています。
また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。
①温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。
②電源変動（電圧、周波数、波形歪み等）が大きい場所でご使用される場合。（許容範囲外での使用はできません）
③振動、衝撃が多い場所に設置されご使用される場合。
④塵埃、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミスト等良くない雰囲気でご使用される場合。
⑤頻繁な発停のある場合、運転時間が長い場合。（24時間空調等）

表-1.「点検周期」および「保全周期」の一覧

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]	主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モーター (ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など)		20,000時間	バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサー (サーミスター、圧力センサーなど)		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年
熱交換器		5年			

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

●定期点検実施の場合でも予期できない突発的偶発故障が発生する事があります。この場合、保証期間外での故障修理は有償扱いとなります。
●補修用部品の保有期間について
このエアコンの補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後9年間となっています。この期間は経済産業省の指導によるものですが、当社はこの基準により補修用部品を調達したうえ修理によって性能を維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理を実施致します。
●電気部品に絶対に水（洗浄水等）をかけないでください。感電、発煙、発火の原因になります。

■消耗部品の交換周期目安 [交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

表-2.「交換周期」の一覧

主要部品名	点検周期	交換周期	主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルター	1年	5年	ヒューズ	1年	10年
平滑コンデンサー		10年	クランクケースヒーター		8年

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2. この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（部品交換費用の予算化など）のためにお役立てください。

■エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロ等の火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が完全に行われたことをサービスマンに確認してください。

■アフターサービスご契約のおすすめ
●当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行う事が出来ます。

■保証書について[保証期間は、お買い上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。]

●保証書はお買い上げの店で所定事項を記入しお渡ししますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

●保証期間中、万一故障した時は、お買い上げの店または指定のサービス店にご連絡ください。
保証書の記載事項に基づいて1年間は無償修理致します。**[保証期間経過後の修理は有償になります。]**
保証期間中でも有償になる場合もありますので、保証書をよくお読みください。

●良好な状態で長く安心してご使用いただくために、お客さまに実施していただく日常点検（フィルター清掃など）以外に専門技術者による定期的な保守点検を実施してください。
標準的な保守点検の、「点検周期」および定期点検に伴う「保全周期」[主要部品の交換・修理実施周期]は、表-1を目安にされると便利です。また、代表的「消耗部品」の例を表-2に示します。
なお、保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時によくお確かめください。

■移設および廃棄について

●転居などでエアコンを移動再設置する場合は専門の技術が必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

●エアコンを廃棄される時は冷媒の回収などが必要ですので、お買い上げの店またはメーカー指定のお客様相談窓口にご相談ください。

移設・工事・点検について

■移設について

①増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。

②据付けや移設時に冷媒を追加充てんする場合は、指定冷媒以外のものを混入させないでください。

■設置場所について

①設置・移設する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。

②次の場所への据付けは避けてください。
・可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
・酢（酢酸）を多量に使用するところ
・海浜地区等塩分の多いところ
・温泉地などの硫化（イオウ系）ガスの発生するところ
・酸性の溶液を頻繁に使用するところ
・炎の近くや溶接時のスパッターなど火の粉が飛び散るところ
・粉や蒸気が多量に発生するところ
・油煙のたちこめるところ
・湿気の多い場所
・高周波加工機のあるところ
・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
など、エアコンの周囲雰囲気が特殊な場所で使用しますと、多くの場合エアコンの故障のもとになります。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

③室内ユニットは必ず水平に据付けてください。水たれなどの原因となります。

④病院・通信事業所などに据付けされる場合は、ノイズ発生源を遮断して施工してください。

■保守点検契約のおすすめ

●エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。ご使用状態によっては臭いが発生したり、ゴミ、ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約（有料）をおすすめします。

■電気工事について

①電気工事は、電気工事士の資格がある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。

②電源はエアコン専用の回路を設けているか販売店にご確認ください。他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。

③万一の感電防止のため、アースを取付けてください。
詳しくはお買い上げの販売店にご確認ください。

④据付場所によっては、漏電ブレーカーの取付けが義務付けられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

⑤ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

■騒音にもご配慮を

①据付けにあたっては、エアコンの質量に十分耐え、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。

②室外ユニットの吹出口からの冷温風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。

③室外ユニットの吹出口の近くに物を置きますと、性能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。

④エアコンをご使用中、異常音がする場合などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

仕　様

製品仕様表

（中温用）

50/60Hz

形名		PCTF-P195MA		PCTFX-P200MA		PCTF-P235MA		PCTFX-P240MA		PCTFX-P370MA	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
項目		PCT-P190A	PUTF-P190A	PCT-P95A×2台	PUTF-P190A	PCT-P250A	PUTF-P250A	PCT-P125A×2台	PUTF-P250A	PCT-P190A×2台	PUTF-P375A
電源		三相200V　50/60Hz									
冷房能力	(kW)	19.5		20		23.5		24		37	
外形寸法	高さ(mm)	600	1650	600	1650	600	1650	600	1650	600	1650
	幅　(mm)	1695	920	1145	920	1695	920	1145	920	1695	1220
	奥行(mm)	900	760	900	760	900	760	900	760	900	760
風量	(m^3/min)	64	185	32	185	80	185	40	185	64	225
騒音値	(dB)	47〈55〉	56	42〈52〉	56	51〈59〉	57	46〈55〉	57	47〈55〉	61
製品質量/台	(kg)	170	180	112	180	170	180	112	180	170	235

形名		PCTFD-P375MA		PCTFX-P460MA		PCTFD-P465MA		PCTFT-P475MA	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
項目		PCT-P95A×4台	PUTF-P375A	PCT-P250A×2台	PUTF-P250SA×2台	PCT-P125A×4台	PUTF-P250SA×2台	PCT-P95A×5台	PUTF-P250SA×2台
電源		三相200V　50/60Hz							
冷房能力	(kW)	37.5		46		46.5		47.5	
外形寸法	高さ(mm)	600	1650	600	1650	600	1650	600	1650
	幅　(mm)	1145	1220	1695	920	1145	920	1145	920
	奥行(mm)	900	760	900	760	900	760	900	760
風量	(m^3/min)	32	225	80	185	40	185	32	185
騒音値	(dB)	42〈52〉	61	51〈59〉	60	46〈55〉	60	42〈52〉	60
製品質量/台	(kg)	112	235	170	185	112	185	112	185

（低温用）

50/60Hz

形名		PCTFS-P200LA		PCTFX-P210LA		PCTFD-P250LA		PCTFS-P240LA		PCTFX-P245LA	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
項目		PCT-P95A×3台	PUTF-P190A	PCT-P190A×2台	PUTF-P190A	PCT-P95A×4台	PUTF-P250A	PCT-P125A×3台	PUTF-P250A	PCT-P190A×2台	PUTF-P250A
電源		三相200V　50/60Hz									
冷房能力	(kW)	20		21		25		24		24.5	
外形寸法	高さ(mm)	600	1650	600	1650	600	1650	600	1650	600	1650
	幅　(mm)	1145	920	1695	920	1145	920	1145	920	1695	920
	奥行(mm)	900	760	900	760	900	760	900	760	900	760
風量	(m^3/min)	32	185	64	185	32	185	40	185	64	185
騒音値	(dB)	42〈52〉	56	47〈55〉	56	42〈52〉	57	46〈55〉	57	47〈55〉	57
製品質量/台	(kg)	112	180	170	180	112	180	112	180	170	180

形名		PCTFT-P375LA		PCTFS-P375LA		PCTFD-P500LA		PCTFS-P475LA	
		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
項目		PCT-P125A×5台	PUTF-P375A	PCT-P190A×3台	PUTF-P375A	PCT-P190A×4台	PUTF-P250SA×2台	PCT-P250A×3台	PUTF-P250SA×2台
電源		三相200V　50/60Hz							
冷房能力	(kW)	37.5		37.5		50		47.5	
外形寸法	高さ(mm)	600	1650	600	1650	600	1650	600	1650
	幅　(mm)	1145	1220	1695	1220	1695	920	1695	920
	奥行(mm)	900	760	900	760	900	760	900	760
風量	(m^3/min)	40	225	64	225	64	185	80	185
騒音値	(dB)	46〈55〉	61	47〈55〉	61	47〈55〉	60	51〈59〉	60
製品質量/台	(kg)	112	235	170	235	170	185	170	185

注1.上記仕様値は標準条件での値です。風量・機外静圧を変更しますと、能力・騒音値も変化します。
注2.上表の騒音値は、A特性です。
注3.外形寸法・風量・製品質量・室内ユニット騒音値は一台あたりの値を示します。
注4.騒音値欄の〈　〉内値は別売プレナムチャンバー、別売フィルターを組込んだ場合の値です。

別売部品

●昇降フィルターボックス

・製品を末永くお使いいただくために必ず取付けください。
・PS150タイプとオイルフィルタータイプをお選びください。

●プレナムチャンバー

・風向調節が可能です。（4段階）

●フレキシブルダクト

・プレナムチャンバーと組合わせれば、ユニット下方への空調も可能です。

●円形ダクトフランジ

・多様な空調シーンに対応できます。

●その他

・遠方表示キットなど豊富な別売部品を用意しています。

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後９年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか？	●運転音が異常に大きくなる。 ●室内ユニットから水が漏れる。 ●電源が頻繁に落ちる。 ●その他の異常や故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくと便利です。			
お買い上げ店名	電話		
お買い上げ(据付)日	年	月	日

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所(073)436-2111

WT05265X03